

### Ⅲ データで見る10年の歩み

## 1. 史料の収集 (1991年～2000年)

収集年度	史料群名	点数	コマ数	リール数
1991年 (平成3)	美作国津山松平家文書 (愛山文庫)		8598	15
	肥後国天草郡本戸馬場村木山家文書	138	5780	10
	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	69	12257	20
1992年 (平成4)	美作国津山松平家文書 (愛山文庫)		12137	21
	肥後国天草郡本戸馬場村木山家文書		4618	8
	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書		9452	16
1993年 (平成5)	(受贈) 遠江国周智郡森町村山田家文書及び調度品	387		
	(受贈) 武蔵国江戸蜷川家文書			
	肥後国天草郡本戸馬場村木山家文書		2862	6
	武蔵国大里郡大麻生村古沢家文書		6115	12
	播磨国美濃郡三木町宝蔵保管文書		12911	25
美作国津山松平家文書 (愛山文庫)		4650	8	
1994年 (平成6)	(受贈) 播磨国神東郡屋形村池田家文書 (追加)	15		
	北海道松前郡福島町宮歌村文書	104		4
	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書		8896	15
	信濃国埴科郡下戸倉村坂井家文書	152	4602	8
	美作国津山松平家文書 (愛山文庫)		8082	14
	(受託) 立正大学経済学部史料			
	長門国萩桂家文書	674		
武蔵国横見郡松山町吉田家文書	95			
信濃国更級郡南牧村文書	114			
1995年 (平成7)	信濃国埴科郡下戸倉村坂井家文書	351	6096	10
	美作国津山松平家文書 (愛山文庫)			55
	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	44	8549	15
1996年 (平成8)	(受贈) 山口県都濃郡末武中村堀家文書	154		
	(購入) 摂津国大坂塩町小橋屋平井家文書	13		
	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	116	7342	13
	長野県東筑摩郡麻績村葦沢家文書		5993	11
	信濃国埴科郡下戸倉村酒井家文書		5345	10
1997年 (平成9)	長野県東筑摩郡麻績村葦沢家文書		6344	12
	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	42	8466	15
	伊豆国田方郡韭山江川家文書			6
1998年 (平成10)	(受託) 武蔵国江戸室町一丁目荻原家文書	11		
	石見国浜田蛭子町和久屋俵家文書	302	7450	13
	山城国京都堀之上町万屋小堀家文書 (1)	194	5560	10
	山城国京都堀之上町万屋小堀家文書 (2)	12	408	1
	伊豆国田方郡韭山江川家文書	18	6215	11
	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書		8237	14
1999年 (平成11)	山城国京都堀之上町万屋小堀家文書 (2)	61	3948	7
	山城国京都堀之上町万屋小堀家文書	1	178	1
	伊豆国田方郡韭山江川家文書	140	3405	7
	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書		9089	15
2000年 (平成12)	信濃国高井郡東江部村山田理右衛門家文書	147	1695	4
	信濃国高井郡中野村綿貫家文書	67	4283	8

1. 各年度「史料館報」の新収史料紹介の記事による。史料群名は「史料館収蔵史料総覧」による。
2. 特に注記のないものは全てマイクロフィルムによる収集史料

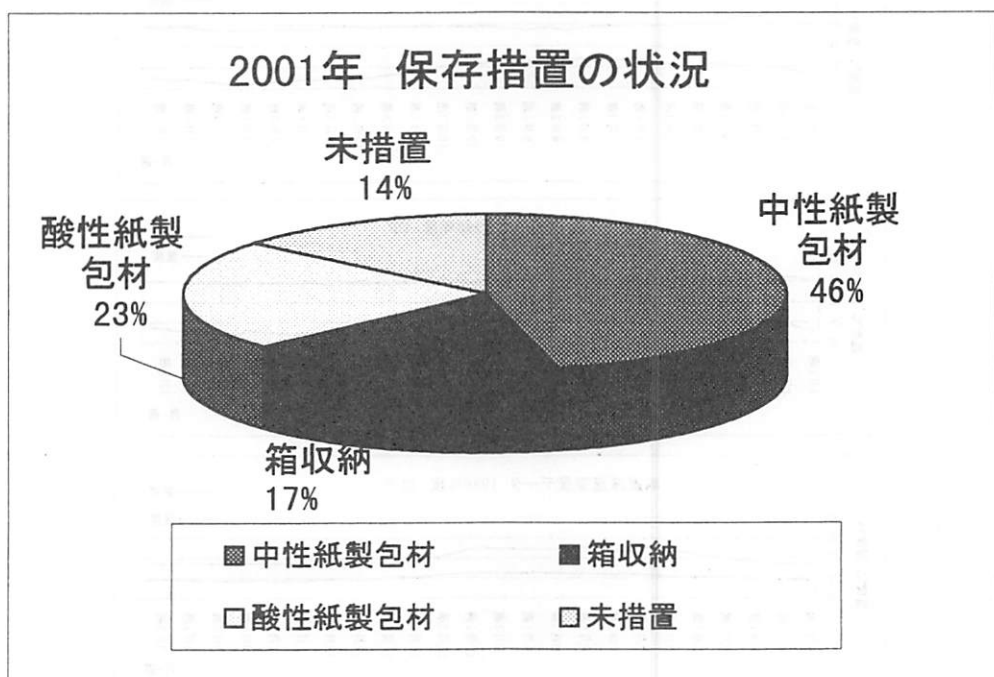
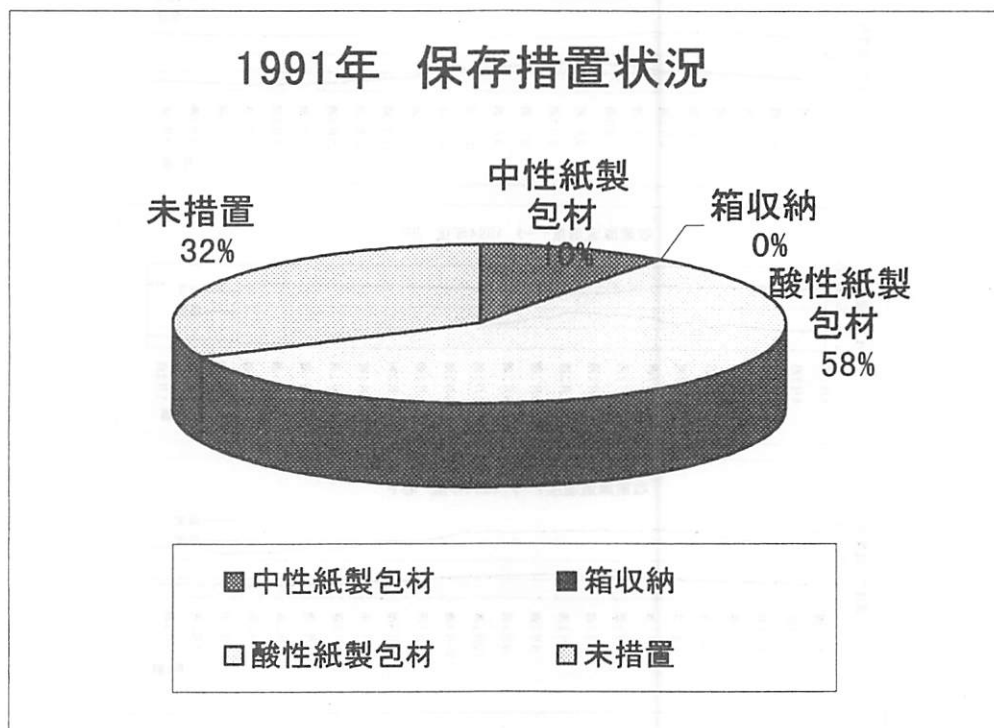
## 2. 史料所在調査先一覧（1991年～2000年）

（敬称略）

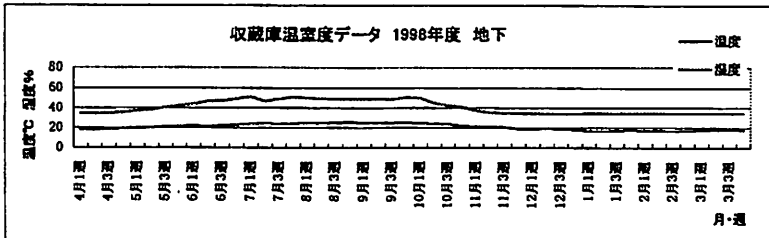
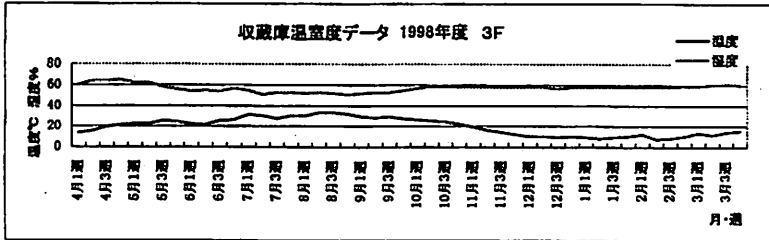
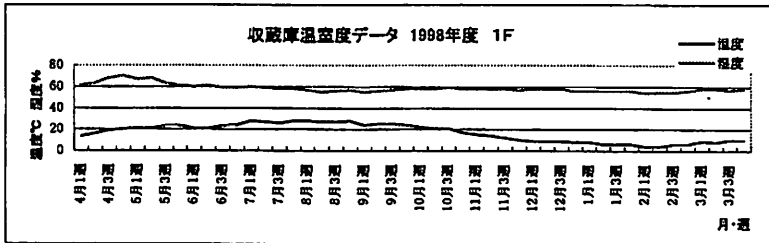
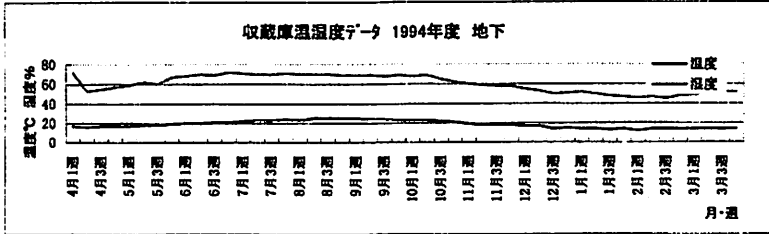
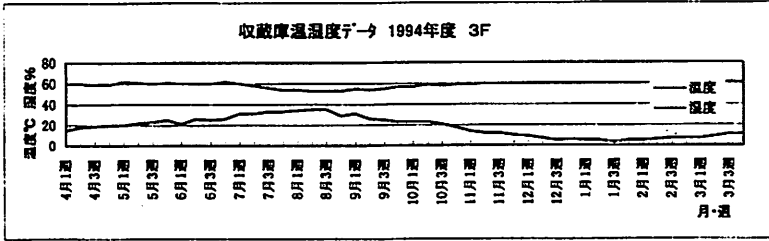
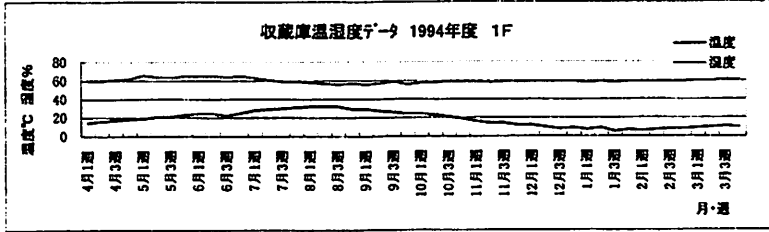
年度	年月日	文 書 群 名	収蔵者名・地域	館報
1991	1991.8.27～29	出羽国秋田郡久保田町那波家文書 （御用達町人）	秋田市立中央図書館明德館・秋田市千秋明德町	56
	1991.10.14～16	松江藩郡奉行所文書（伝「御徒文書」）	島根県立図書館・島根市中原町	
1992	1992.10.7～9.	松江藩郡奉行所文書（伝「御徒文書」）	同 上	
1993	1993.10.18～20	松江藩郡奉行所文書（伝「御徒文書」）	同 上	60
	1993.1.24～27	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	高山市郷土館・高山市上一之町	
1994	1994.10.11～13	松江藩郡奉行所文書（伝「御徒文書」）	前 掲	62
	1994.12.6～9	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	前 掲	
1995	1995.12.12～15	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	同 上	64
1996	1996.12.10～13	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	同 上	66
1997	1997.12.16～19	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	同 上	68
1998	1998.8.24～28 1999.1.23.～26	阿波国徳島蜂須賀家文書関連史料	徳島県立文書館・同図書館・同博物館・徳島市立徳島城博物館・徳島大学付属図書館	70
	1998.10.13～18	信濃国佐久郡下海瀬村土屋家文書（村役人）	土屋久寿弥太氏・長野県佐久町海瀬	70
	1998.10.13～18	信濃国高井郡東江部村山田家文書（地主）	山田顕五氏・長野県中野市江部	
	1998.12.2～4	飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書	前 掲	
1999	1999.11.22～25	信濃国佐久郡下海瀬村土屋家文書	前 掲	72
	1999.9.27～30、 11.16～19	信濃国高井郡東江部村山田家文書	前 掲	72
2000	2000.10.2～6、 10.23～27	信濃国高井郡東江部村山田家文書	前 掲	74

### 3. 史料の保存と修復

史料館10年間における保存措置の実態



1994年と1998年を比較した収蔵庫の温度・湿度環境



#### 4. 閲覧利用統計 [1991（平成3）年度～2000（平成12）年度]

年度	開館日数	利用者数	閲覧票提出者数	出納件数	出納点数	(内)史料点数	(内)図書点数 <sup>3</sup>	一般撮影件数 <sup>4</sup>	特別撮影件数 <sup>5</sup>	(内)掲載件数	(内)大量撮影	(内)放映件数	貸出件数 <sup>6</sup>	貸出点数 <sup>6</sup>	複写(コピー)件数 <sup>7</sup>
1991 (平成3)	283	1,116	756	13,587	20,136	19,873	263	159	110	97	9	4	5	25	
1992 <sup>1</sup> (平成4)	244	1,186	766	21,675	29,034	28,401	633	166	117	101	13	3	3	34	
1993 (平成5)	234	1,514	1,060	20,292	29,482	28,458	1,024	162	126	113	8	5	7	36	136
1994 <sup>6</sup> (平成6)	236	1,492	1,076	22,542	38,713	37,140	1,573	184	126	110	9	7	6	95	188
1995 (平成7)	234	1,459	974	16,698	24,614	23,105	1,509	167	123	106	11	6	8	245	211
1996 (平成8)	227	1,195	860	9,941	19,923	15,161	4,762	135	108	97	6	5	3	14	344
1997 (平成9)	226	1,261	877	10,172	25,028	22,217	2,811	144	115	92	14	9	5	24	288
1998 <sup>2</sup> (平成10)	216	1,257	912	10,568	22,683	20,970	1,713	170	121	97	15	9	9	60	277
1999 (平成11)	224	1,576	984	17,090	26,912	23,473	3,439	201	140	114	17	9	4	28	251
2000 (平成12)	225	1,491	1,079	17,464	24,562	22,559	2,003	217	118	99	17	2	4	120	214

1 完全週休二日制の実施にともなう土曜日の閉館〔開始〕

2 閲覧室出入口改修工事に伴う閉館12/14～1/6（含：年末年始）

3 逐次刊行物を含む（但、逐次刊行物の公開は1995（平成7）年度から）

4 主として個人が調査研究で撮影

5 4以外の目的で撮影（出版物等への掲載・大量撮影・放映等）

6 貸出年度で集計

7 複写（コピー）サービス開始は1993（平成5）年度から

## 5 (1) 史料管理学研修会・開催一覧

回数	年 度	課程	開催時期	会 場	修了者数
34	1988 (昭和63)	長期	9.5～9.16 ; 10.17～10.28	東京 (国文学研究資料館)	28
		短期	11.7～11.11	大阪 (大阪府公文書館)	30
35	1989 (平成1)	長期	7.10～8.5 ; 9.4～9.30	東京 (国文学研究資料館)	12
		短期	11.6～11.18	福岡 (福岡ガーデンパレス)	22
36	1990 (平成2)	長期	7.9～8.3 ; 9.3～9.28	東京 (国文学研究資料館)	15
		短期	11.5～11.16	岡山 (岡山県青年館)	24
37	1991 (平成3)	長期	7.8～8.3 ; 9.2～9.28	東京 (国文学研究資料館)	11
		短期	11.11～11.22	札幌 (KKR札幌)	15
38	1992 (平成4)	長期	7.6～8.1 ; 8.31～9.26	東京 (国文学研究資料館)	25
		短期	11.16～11.28	徳島 (ホテル千秋閣)	29
39	1993 (平成5)	長期	7.5～7.30 ; 8.30～9.24	東京 (国文学研究資料館)	15
		短期	11.8～11.20	京都 (京大会館)	37
40	1994 (平成6)	長期	7.4～7.29 ; 8.29～9.22	東京 (国文学研究資料館)	31
		短期	11.7～11.19	新潟 (新潟会館)	32
41	1995 (平成7)	長期	7.3～7.28 ; 9.4～9.29	東京 (国文学研究資料館)	18
		短期	11.6～11.17	広島 (せとうち苑)	31
42	1996 (平成8)	長期	7.1～7.26 ; 9.2～9.27	東京 (国文学研究資料館)	20
		短期	11.11～11.22	長野 (ホテル信濃路)	45
43	1997 (平成9)	長期	7.1～7.28 ; 9.1～9.26	東京 (国文学研究資料館)	20
		短期	11.10～11.21	沖縄 (沖縄県公文書館)	31
44	1998 (平成10)	長期	6.29～7.24 ; 8.31～9.25	東京 (国文学研究資料館)	14
		短期	11.9～11.20	東京 (国文学研究資料館)	43
45	1999 (平成11)	長期	6.28～7.23 ; 8.30～9.24	東京 (国文学研究資料館)	22
		短期	11.8～11.19	秋田 (秋田市文化会館)	29
46	2000 (平成12)	長期	7.3～7.28 ; 9.4～9.27	東京 (国文学研究資料館)	34
		短期	11.6～11.17	島根 (松江市生涯教育センター)	34
47	2001 (平成13)	長期	7.2～7.27 ; 9.3～9.28	東京 (国文学研究資料館)	
		短期	11.5～11.16	富山 (KKR富山銀嶺)	

注)

1. 本表の「回数」は、近世史料取扱講習会などからの通算である。
2. 開催時期は、長期の場合、前期・後期に分かれているが、その区分を「;」で示した。
3. 第1回(通算第34回)の史料管理学研修会では、修了レポートを課していなかった。よって、同年度はレポート一覧の中に含まれていない。
4. 長期課程を2年にわたり受講している者については、修了時の年度に含めて集計している。なお、レポート一覧における年度・課程の表示も同様、修了時のみを表示する。

## 5 (2) 史料管理学会研修会・修了レポート一覧

1989年度 34名

課程	氏名(当時所属)	題名
長期	斎藤正樹(松戸市立図書館)	松戸市における史・資料の保存
	松本義男(日本工業大学資料室)	「礼羽誌略」考—松本家系譜について
	冨善一敏(東京大学大学院(D))	文化一〇年信州諏訪郡乙事村における文書整理について
	藤田 純 (多摩市役所企画部市史編さん室)	多摩市の文書管理状況について
	吉岡 孝(多摩市史編さん室)	多摩市史編纂における史料整理・目録編成の現状と課題
	深山 伸 (東京大学生産技術研究所図書掛)	研究所資料のマイクロ化 CD-ROM化について
	飯野洋一(東京大学法学部研究室 継続資料班)	選挙行政文書に関する一考察—埼玉県を中心として
	長坂陽子(東洋大学大学院(M))	埼玉県立文書館における地域対外活動と作成目録の変遷
	若杉隆志 (法政大学大原社会問題研究所)	個人文庫の冊子目録について検討する
	都留孝子(東洋大学大学院(M))	近世史料のデータベース化について
	井上恵美子(東洋大学大学院)	史料の保存について
	渡邊佳子(京都府立総合資料館)	明治期京都府における記録文書保存の状況—京都府庁文書の記録をたどる
	短期	秋田通子 (愛媛県吉田町教育委員会)
遠藤トモ(梅花学園総務部資料室)		学校法人梅花学園における学園史資料の収集と今後の課題
藤川光代 (四国女子大学附属図書館)		四国女子大学附属図書館における凌雲文庫目録作成の問題点
戸津川温子(北海道立文書館)		北海道における公文書の保存管理と文書館の公文書引渡しについて
高橋健一(佐倉市役所総務部総務課市史編さん担当)		佐倉市歴史資料保存センターへの展望と今後の課題
本多博之(福岡市博物館)		福岡市博物館における史料管理の現状と課題
長澤 洋(広島県立文書館)		広島県立文書館における行政文書の収集と閲覧利用について
金山正子(大阪府公文書館)		大阪府公文書館における公文書の収集・保存・整理と今後の課題
神田由築(東京大学大学院)		香川県金毘羅宮関係史料について
末信千代子 (九州大学文学部図書室)		部局図書室における保存対策について
植村芳浩(熊本県立図書館)		近世史料の取り扱いについて
稲光勇雄(福岡県立図書館)		公共図書館における郷土資料室運営の一考察
野田恵美 (京都大学文学部国史研究室)		京大國史研究室所蔵史料(「國史分類目録」和綴本)の実態調査
喜多 恵(福岡県地域史研究所)		史料管理の実務における「資料群」概念の具体化とその拡張の必要性と問題点
峰日出人(福岡県地域史研究所)		史料管理学会研修会を受講して一職場における問題点の把握と今後の取り組みについて
高橋和広(福岡県地域史研究所)		古代史料論について
森 知巳(株式会社香蘭社総務課)		株式会社香蘭社における現存史料の保存と利用について
保坂裕興(学習院大学史料館)		武蔵国上名栗村町田家の文書管理史—体系的秩序再構築のための準備ノート
尾崎葉子 (佐賀県有田町歴史民俗資料館)		陶都有田における文書収集と活用について
中村久子(佐賀部落解放研究所)		田尻徳磨家史料について
本多美穂(佐賀県教育庁文化課)	佐賀県立歴史資料館(仮称)の構想と課題	
碓美也子(佐賀県立図書館)	佐賀県立図書館における歴史資料整理の現状と課題	



## 1990年度 39名

課程	氏名(当時所属)	題 名
長期	白川満純(堺市立中央図書館)	堺市における歴史(資)料収集・保存の経過と今後の課題—地域文化を未来に伝える収集と保存
	霜田照夫 (所沢市教育委員会市史編さん室)	所沢市における史(資)料収集の現状と今後の課題
	日露野好章 (東海大学五十年史編纂室)	東海大学における大学史資料の収集と今後の課題
	石原一則(神奈川県立文化資料館)	記録の収集と評価について
	芦田伸一(千葉大学大学院)	「解体史料」をめぐる整理—千葉市柏井町川口家文書を例に
	後藤雅知(東京大学大学院(M))	小笠原村長谷川家文書の概要と現状記録について
	毛塚万里(立正大学大学院聴講生)	絵画史料の閲覧利用にむけて—国文学研究資料館史料館および各機関の現状
	大城盛有(玉川学園教育博物館)	琉球の辞令書—特に田名家文書について
	柿崎博孝(玉川学園教育博物館)	玉川学園における史料保存施設の現状と今後の課題
	山口芳利(船橋市西図書館)	船橋市西図書館所蔵資料の保存と利用—貴重資料の複製化と情報提供
	青木隆幸(王舎城美術資料館)	写真資料長期保存に有効な早期における施策の検討
	岡田昭二 (群馬県立文書館古文書課)	古文書の受入れと利用について—群馬県立文書館古文書課の現状と課題
	小林愛子(上智大学総務部広報課)	上智大学設立の背景、学校法人上智学院史資料の収集と今後の課題
	中川敏子 (関西大学図書館収集整理課)	図書館における資料保存について
	中川壽之 (中央大学広報部大学史編纂課)	中央大学における年史編纂事業の展開と今後の課題
短期	眞田幹夫(金光教教学研究所)	宗教と資料—金光教資料の収集・管理
	三好光一(金光教教学研究所)	資料管理における諸問題—金光教教学研究所の場合
	松井輝昭(広島県立文書館)	下張り文書の保存と地域史研究
	星屋雅子((財)柳沢文庫)	柳沢文庫収蔵史料について
	工藤茂博(姫路市立城郭研究室)	姫路城昭和修理工事の記録資料とその整理について
	北村久美子(島根県立図書館)	島根県立図書館蔵県庁引継文書について
	松本稔章 (静岡県教育委員会県史編さん室)	県史編さん収集資料の保存・活用について
	広瀬知恵 (岡山県熊山町役場町史編纂室)	熊山町史編纂のための史料収集・整理の実際と今後の課題
	三宅克広 (倉敷市役所市史編さん室)	「公文書館」と自治体史編纂事業—倉敷市史編纂の事例に基づいて
	山本太郎(倉敷市役所総務局総務部市史編さん室)	倉敷市史編さんにおける近世史料の調査収集と今後の課題
	里見美世子 (四国女子大学附属図書館)	凌符文庫の解題・目録作成と利用サービスの現状と課題
	秋田征矢雄(金光図書館)	史料選択の問題点—特に現代資料について
	金光英子(金光図書館)	金光図書館における近世史料の収集整理と今後の課題
	松原敏夫(琉球大学附属図書館)	沖縄の記録史料「球陽」について
	小林雅代(岡山大学附属図書館)	岡山県における公文書館設置について—特に複合施設とすることに関して
	山本 実 (兵庫県文書課県史編纂室)	兵庫県史編纂室収集資料の整理・保存の現状と今後の課題
	渡辺典子(学習院大学史料館)	廻状の懸紙のかけ方に関する一考察—武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書にみる
	秋本好治 (京都大学法学部図書館閲覧係)	史・資料の保存対策について

短期	和高真知子 (和歌山大学経済研究所)	史料管理学会を終えて—雑感—
	志波深雪 (佐賀県立図書館)	佐賀県立図書館における歴史資料の整理・保存及び利用について
	田中万里子 (池田市教育委員会社会教育課)	大阪府池田市における古文書調査と今後の課題
	佐々木弘子 (熊本県立図書館資料課)	熊本県立図書館における近代史料の収集と保存について
	義根益美 (姫路市史編纂室)	姫路市史編纂室における史料整理・目録作成について
	三浦久美子 (北海道立文書館)	「北海道国有未開地関係文書」の整理について

1991年度 26名

課程	氏名 (当時所属)	題 名
長期	伊藤克江 (富山大学大学院)	城端別院普徳寺文書の整理・保存について
	木村立彦 (所沢市教育委員会市史編さん室)	写真資料取り扱いの現状と問題点—所沢市史編さん室及び交通博物館・小平市立図書館を例に
	栗山義久 (南山大学図書館学術情報第一課)	機械化検索の問題点とその課題について
	細井 守 (藤沢市文書館)	藤沢市永年保存文書にみる行政文書の史料学的検討
	前田慈子 (京都府立総合資料館)	総合資料館におけるマイクロ収集の現状と課題
	秋山俱子 (日本女子大学成瀬記念館)	大学史資料保存の現状とその将来を考える—日本女子大学の場合
	金原裕樹 (徳島県立文書館)	徳島県立文書館のデータベース
	高橋 覚 (千葉県文書館資料課)	文書館における展示活動—千葉県立文書館企画展を事例として
	立野 晃 (鎌ヶ谷市郷土資料館)	区有文書の管理と構造について—千葉県茂原市「法目郷文書」を事例として
	中山文人 (松戸市立博物館開設準備室)	社会教育機関における情報サービス—(仮称)松戸市立郷土資料館における情報管理システムについて
藤田 正 (中央大学大学史編纂課)	中央大学総合資料館の設立に向けて	
短期	内山真理子 (花王株式会社社史編纂室)	企業に於ける資料整理について
	狩野俊明 (大阪府公文書館)	大阪府における公文書館のあり方
	石田泰弘 (愛知県佐織町教育委員会)	史料保存利用施設を持たない地方自治体における史料管理について—愛知県海部郡佐織町の場合
	石田弘幸 (静岡県教育委員会県史編さん室)	史料管理と史料活用・情報サービスについて
	佐々木 悟 (秋田県総務部文書広報課)	公文書館制度における課題
	寺西英二 (名古屋市市政資料館)	公文書館資料の閲覧利用と公務員の守秘義務について
	岡部真二 (牛久市役所総務部秘書広報課市史編さん室)	現地調査における史料整理の方法について—原秩序尊重・段階的整理の実践報告
	生田享子 (学習院大学史料館)	史料保存への第一歩—学習院大学史料館での試行錯誤
	榎本洋介 (札幌市教育委員会文化資料室)	所蔵文書の検索と文書館の役割について
	山本昇三 (北海道住宅都市部工営課)	アーキビストについて
	吉田千絵 (北海道石狩支庁会計課)	北海道における文書保存のあり方について
	佐藤宥紹 (釧路市役所釧路市審議室市史編纂事務局)	史料論の視点からみた蝦夷地厚岸国泰寺文書
	齋原美恵子 (北海道立文書館)	場所請負制度下における行政文書の保存形態について
	中村純一 (北海道立文書館)	北海道内私文書発掘調査についての考察—特に町(村)史編纂事業と史料保存とのかわりについて
	金田文男 (新潟県立文書館)	歴史資料と民俗資料の活用

## 1992年度 54名

課程	氏名(当時所属)	題名
長期	中井伸明(堺市立中央図書館館内奉仕第一係郷土資料担当)	堺市立中央図書館における郷土資料(コーナー)の現状と課題—地域資(史)料を利用できる市内唯一の施設として
	松下孝昭*(広島県立文書館)	広島銀行創業百年史編纂資料の整理について
	木村由美子	牛久市における小川芋銭関係史料の現況調査
	小寺泰二(京都府立総合資料館)	京都府立総合資料館における古文書資料の利用について—とくに閲覧利用を見直す
	黒滝哲哉(東京都公文書館)	古代から中世における史料管理システムの変遷
	吉田潤子(創価大学中央図書館)	史料保存と大学
	長田由美(お茶の水女子大学大学院)	アメリカ接収資料の返還とその後
	三好祥子(お茶の水女子大学大学院)	日本における史料管理方法について
	針谷武志(多摩市史編さん室)	武家文書史料の整理と構造分析に向けての一試論—鷹見家資料調査を例に
	丸山美季(学習院大学大学院)	御用留の史料論的分析—武州秩父郡上名栗村の御用留の事例
	三上淳子(学習院大学大学院)	学習院大学史料館における「旧華族史料の所在調査」について
	岩橋清美(法政大学大学院(D))	武蔵国多摩郡野津田村における名主の文書管理と「年代記」の作成
	永井美和子(早稲田大学文学研究科研修生)	明治期以降演劇未整理資料について
	中村裕生	地域史編纂から文書館の設立へ
	高梨節子	「上花輪歴史館」設立計画の報告書
	河西奈津子(富山市郷土資料館・福生市史編さん室)	史料取扱機関における史料の位置付けと職員の専門性—図書館、博物館、公文書館・文書館を取り上げて
	大和武生(徳島県立文書館)	徳島県における古文書収集の問題点
	沖田哲雄(中央大学広報部大学史編纂課)	大学史資料の公開に向けて
	松本宏司(上野学園日本音楽資料室)	上野学園日本音楽資料室における1点1枚で1長期の利用と保存を考えた史料調査とそのマニュアル作成の試み
	福田八重子(大東文化大学図書館)	大学図書館におけるコレクション資料の整理・保存(実践にそくして)
	新井浩文(埼玉県立文書館)	古文書史料の保存と利用—埼玉県立文書館における現状と課題
	荒井信司(千葉県栄町役場町史編さん室)	区有文書の成立過程—旧千葉県印旛郡安町地域を素材として
	石川一樹(東京大学附属図書館)	律令国家の文書管理
原口雅樹(埼玉県大井町立郷土資料館)	学校教育における資料館収蔵資料の利用について	
前田留実(東京芸術大学大学院)	地券紙について	
短期	本井晴信(新潟県立文書館)	近現代史料の認識について—写真及び絵葉書を例に
	野中寛文(香川県総務部学事文書課文書館準備室)	香川県史編さん資料の整理と問題点
	秦哲夫(大分県庁総務部総務課文書管理係)	大分県における公文書館の整理について—公文書の収集、整理、検索についての構想
	松木一祥(静岡県教育委員会県史編さん室)	静岡県立文書館の設立に向けて
	田口俊幸(兵庫県文書課県史編集室)	史料管理学習研修会を受講して—文書館のあり方を中心に
	藤井寿一(田辺市役所企画部市史編さん室)	安宅家文書の全体構造復元試論
	梅村郁夫(山口県文書館)	文書館と基本的人権
	尾島 治(津山郷土博物館)	愛山文庫の史料管理学的考察、を指して
	山本哲也(四国大学附属図書館)	一地方における戸長制度の展開

短期	横山 定 (岡山県古代吉備津文化財センター)	近世大名の所領変化における文書の受渡について
	川合健之 (三重県総務部学事文書課)	三重県史編さん室における藤堂藩関係資料の収集と今後の課題
	菊池保男 (秋田県立秋田図書館)	図書館から秋田県公文書館に移管される資料について
	長佐古美奈子 (学習院大学史料館)	旧華族史料所在調査について
	岡田恵子 (徳島大学附属図書館)	徳島大学附属図書館における古文書の扱いについて
	深来恵子 (鳴門教育大学附属図書館)	史料管理学研修会を終えて
	近藤 薫 (鳴門教育大学附属図書館)	史料管理学研修と図書館業務
	上甲典子 (滋賀県栗東町教育委員会社会教育課町史編さん係)	自治体史における写真資料収集と今後の課題
	島村長生 (高知市民図書館)	高知市民図書館における史料の整理保存の現状と今後の課題
	入江真知子 (福岡県立図書館)	福岡県立図書館に於ける近世資料の検索について
	橋田裕美 (東海大学附属図書館)	マイクロフィルム化史料の整理に関する一考察
	寺澤 尚 (岩手県立博物館)	岩手県立博物館における史料整理の現状と課題
	福本紀美子 (徳島県立文書館)	文書館に関する広報調査
	松尾容子 (徳島県立文書館)	徳島県立文書館における公文書の収集と管理について
	福田憲熙 (徳島県立文書館)	阿波国美馬郡半田村大久保家文書について
	松下師一 (徳島県立文書館)	出原家文書における整理の実際と史料管理史への展望
	屋良奉子 (沖縄県北谷町役場総務課行政係)	行政文書等の公文書館への移管について—沖縄県北谷町における事例報告
	田島由紀美 (徳川林政史研究所)	データベースが研究支援システムとなるために
	仲田洋一 (沖縄県総務部文書学事課公文書館建設班)	沖縄県立公文書館 (仮称) の立地条件とその規模について
	吉岡正司 (徳島県脇町役場町史編集室)	脇町史編集における新聞記事目録集の作成に当って

1993年度 52名

課程	氏名 (当時所属)	題 名
長期	長谷川由美子 (国立音楽大学附属図書館)	国立音楽大学附属図書館における「竹内道敬寄託文庫」の保存、目録、利用について—錦絵目録を中心に
	大野光正 (中央学術研究所)	立正佼成会史料管理の確立に向けて
	小森治夫 (京都府立総合資料館)	京都府における行政文書の引継移管と評価選別
	長澤 洋* (広島県立文書館)	広島県立文書館におけるコンピュータ利用とその問題点
	木村隆子 (東京学芸大学附属図書館)	往来物の保存対策に向けて—東京学芸大学附属図書館望月文庫往来物の現状調査
	石川佳世 ((財)石水博物館)	石水博物館における史料管理の現状と課題
	谷本晃久 (学習院大学大学院(M))	幕末期蝦夷地御用所の構造的検討—「御用状」と「土人印鑑」
	藤實久美子 (学習院大学大学院(D))	書籍史料調査の理論と方法—上総国山辺郡田中村桜井家文書の調査報告
	田中 尚 (群馬県立文書館)	群馬県立文書館における未整理文書の保存状態調査
	最上 登 (立教大学図書館大学史資料室)	組織体史製作に伴う諸問題について
	高野栄美 (柏市教育委員会社会教育部文化課市史編さん担当)	柏市域近世村落における文書管理—旧大室村方近世後期の文書管理
	五島敏芳 (学習院大学大学院)	現状記録の意義に関する一考察—山梨県山梨市下神内川区有文書の場合
	倉持美樹 (所沢市教育委員会教育総務部市史編さん室)	地域文書館における展示
	相京眞澄 (千葉県文書館資料課)	近世史料整理におけるいわゆる“史料カード”の諸問題
	篠原茂弥 (東京大学附属図書館)	労働組合の記録管理論

短期	福原章浩（静岡県教育委員会文化課県史編さん室）	史料管理学と学校教育の果すべき役割
	阪本正彦（三重県総務部学事文書課）	三重県史編さんにおける史料調査の現状と課題
	御手洗清（福岡市教育委員会新図書館開設準備担当）	福岡市の公文書館構想について
	高橋正雄（阪急電鉄（株）史料管理室）	未来に残す会社の足跡
	山本幸俊（新潟県立文書館）	学校史料の保存と活用にむけて—新潟県の事例より
	和田義久（枚方市市民情報課）	枚方市における史料保存の展開
	池田治司（大阪商業大学商業史研究所）	大阪商業大学商業史研究所における古文書整理方法の改善点について—藤田村文書の整理を通して
	手塚公子（住友史料館）	レファレンス業務及びファイリングについて
	三輪由美子（愛知県公文書館）	愛知県における史料所在調査について
	亀岡哲也（近江八幡市教育委員会文化財課）	自治体をいかに史料保存と取り組みさせるのか
	柳沢美美子（福井県総務部県史編さん課）	旧町村役場文書目録作成のための予備的作業—福井県史旧町村役場文書調査の概要と簿冊の分野別残存状況
	森田恵美（東京女子医科大学大学史料室）	東京女子医科大学大学史料室における史料管理の現状とその課題
	山崎一郎（山口県文書館）	村役人による文書の作成と管理—長州藩領を事例として
	横山 功（立命館大学図書館）	学内文書と図書館所蔵資料
	木下英明（茨城県立歴史館史料部県史編さん室）	阿見町湯原正雄家文書調査について
	大久保雅央（泉大津市史編纂室）	大阪府下の自治体史編纂室における史料目録作成の現状と課題
	森田文子（熊本県立図書館）	熊本県立図書館の古文書収集について
	松井恵美子（福岡県立図書館）	福岡県立図書館における近現代史料の収集について—その現状と課題
	佐藤見洋（大分県教育庁文化課）	大分県における史料保存利用の現状と可能性
	井上真琴（同志社大学学術情報センター情報サービス課）	大学図書館における史・資料の保存管理—その現状と課題
	大賀 税（西宮市総務局行政部行政資料課）	西宮市における歴史資料の管理・保存とその問題点
	福重綾子（西宮市総務局行政部行政資料課）	西宮市における行政文書の収集と整理について
	秋宗正男（高野山大学図書館）	和歌山県伊都郡かつらぎ町天野に於ける近世文書発生の一例—文化十五年「幣之坊火傷日記」より
	田中利生（龍谷大学大宮図書館）	仏教古文書の扱いについて
	斎藤 智（徳島県立文書館）	徳島県立文書館における県関係公文書の収集管理について
	大塚陽子（（財）三井文庫）	三井文庫における資料のマイクロ化
	川田英津子（学習院大学史料館）	近世状型文書の形態表示について—武蔵国秩父郡上名栗村町田家文書を素材として
	印牧信明（福井市史編さん室）	寺院文書の概要調査を終えて
	伊藤 太（京都府立丹後郷土資料館資料課）	丹後所在の中世文書—展示を通して考える
	黒川孝宏（亀岡市文化資料館）	郷土資料の保存・活用とその課題—亀岡市文化資料館の事例を中心に
	中西幸子（京都大学人文科学研究所）	大学図書館における史料の保存について—特に話題のマイクロフィルムについて
	桑野智世（京都大学附属図書館）	京都大学附属図書館の貴重資料の現状について
	高井まな（京都大学医学部整理掛）	大学図書館の史料管理の現状と問題点：京都大学附属図書館を事例として
	那須浩子（大谷女子大学図書館）	大谷女子大学図書館に於ける保存の現状と課題
	橋上猛雄（大阪狭山市教育委員会）	大阪狭山市における公文書館的機能の充実への試み

短期	柳川幸子 (上越教育大学大学院研究生)	新井市の古文書の現状について
	小岩弘明(一関市教育委員会博物館建設対策室)	町史編纂と古文書—ある町を例とする史料の変転と保存

1994年度 63名

課程	氏名(当時所属)	題 名
長期	坂内奈都子 (浦安市教育委員会社会教育課)	現代史料の整理・分類に関する事例報告—千葉県浦安市漁業協同組合文書
	松本友里(神奈川大学大学院歴史民俗学専攻科(M))	史料論素材としての藩士日記—考察—盛岡藩士菊池家日記について
	酒井麻子(藤沢市文書館)	史料保存計画—藤沢市文書館における
	高橋秀典(日本大学大学院文学研究科(D))	荒川区「皆川号外コレクション」における新聞号外・附録の整理及目録作成
	村川浩平(板橋区史編さん調査会)	蜂須賀氏への松平氏下賜文書とそのライフサイクル
	原田清美(成蹊学園学園史料館)	学校における史料管理についての再検討—成蹊学園の場合
	佐藤文智(千葉大学大学院教育学研究科社会科教育専攻(M))	近世後期の一組織体の文書構造について—米沢藩鮎貝御役屋関係の文書を通して
	岡田謙一	史料の保存と利用について
	生駒哲郎(立正大学大学院文学部研究科史学専攻(M))	京都妙蓮寺一切経の目録作成について
	宮原一郎(國學院大学大学院文学研究科日本史学専攻(M))	近世村落における村政と文書管理—武州秩父郡大野村の事例を中心に
	辻崎久哲(國學院大学大学院文学研究科日本史学専攻(D))	江戸時代後期宿役人の文書収集と文書認識—東海道川崎宿森家旧蔵文書の史料学的分析
	穴山朝子(お茶の水女子大学大学院人間文化研究科(D))	連合国による押収ドイツ文書—その管理状況
	金井聖子(お茶の水女子大学大学院人文科学研究科(M))	個人史料の整理と目録編成について—近現代・政治史関係史料を中心に
	湊岡由美(学習院大学大学院人文科学研究科(D))	「曾根崎心中」にみる町人の文書に対する意識について
	西村 晃(広島県立文書館)	広島藩における村方文書の管理規定との実態—竹内家文書の目録作成に向けて
	佐藤芳郎(国士館大学広報課)	史料管理学会と国士館資料室
	柳川幸子* (上越教育大学大学院聴講生)	自治体史編纂後の史料保存と活用について 中頸城郡吉川町史編纂をめぐって
	森田朋子(お茶の水女子大学大学院人間文化研究科(D))	幕末における一農民の文書利用・保存活動の一例—横浜市磯子区堤芳正家所蔵文書をてがかりに
	LoriWalt(お茶の水女子大学大学院人文科学研究科(M))	お茶の水女子大学女性文化研究センター—史料管理学という立場からの評価
	小川朝子(学習院大学大学院(D))	現代企業アーカイブズについての一試論—虎屋文庫を素材として
	後藤 功(学習院大学大学院(M))	内膳司濱島家文書目録の項目編成について
	内山公宏(学習院大学大学院(M))	事例報告—戦時における蓬左文庫の史料疎開について—
	渋谷葉子(学習院大学大学院(D))	「御用村用諸事日記」の記録史料論的分析—その性格と内容
	近藤文子(徳島県立文書館)	徳島県立文書館所蔵GHQ/SCAP CAS文書の整理
	小川美保 (日本女子大学成瀬記念館)	日本女子大学成瀬記念館における史料の保存と利用—「家庭週報」を事例として
	三枝辰男(一橋大学附属図書館)	一橋大学附属図書館の現状と問題点を踏まえた史料管理計画について—「軍配組合」関係史料を中心として
	金山正子(大阪府公文書館)	近現代史料の保存問題と公共保存施設の役割についての一考察—大阪府公文書館に寄せられた保存レファレンスの事例から
降幡浩樹(松代藩文化施設管理事務所・真田宝物館)	史料目録による真田家史料群再構成への試論	
角田 茂 (中央大学大学史編纂課)	史料の蓄積とデータ処理の問題をめぐって—中央大学大学史編纂課の場合	

長期	河野元子（久留米大学大学院）	近世後期における日記の史科学的考察—佐藤常足「家事雑記」のデータベース化を試みて
	立石恵嗣（徳島県立文書館）	徳島県立文書館における絵図資料の保存と利用について—複製化に関する一考察
短期	伊東祐之（新潟市役所国際文化都市史編さん課）	「新潟町会所文書」の構成と伝来
	鈴江 智（枚方市役所市民情報課）	枚方市における近世史料の保存と活用について
	丸尾 寛（香川県立文書館）	家文書整理における問題点—寄贈山下家文書の場合から
	玉木順彦（沖縄県北谷町公文書館）	近世文書の民俗資料としての活用について—沖縄県先島の古文書の事例
	水野和明（愛知県公文書館）	愛知県公文書館における史料保存の現状と対応策
	西口佳子（愛知県公文書館）	愛知県における史料調査の現状と課題
	檜山 文（神奈川大学大学院）	藤沢市史新聞記事目録の作成に携わって
	松田昌雄（久喜市公文書館）	久喜市公文書館における資料の取扱いについて—資料の収集・整理・保存・公開
	荒木清二（広島県立歴史博物館）	広島県立歴史博物館における史料整理の現状と課題
	岩田智穂（静岡県教育委員会）	博物館法と公文書館法—その成立と資料の取扱いについて
	海道静香（福井県総務部県史編さん課）	福井県史での絵図史料調査について
	鎌田和栄（和歌山県立文書館）	「東大塚村上野家文書目録」における内部構造と構造別分類目録の問題点について
	林 善人（三重県総務部学事文書課）	公文書及び役場文書の保存と現状について
	安田晃子（大分県教育庁文化課）	大分県先哲史料館における史料保存利用の課題と展望
	本田雄二（新潟県立文書館）	史料整理と目録編成について—原秩序尊重の目録編成と分類項目付与の有機的関連
	徳永和夫（新潟県立文書館）	小規模文書館での目録編成について
	外内千恵子（新潟県立文書館）	質地証文の様式変化について—天領佐渡の事例から
	高橋郁子（新潟県立文書館）	文書館における図書資料
	本多陽子（新潟県立文書館）	文書管理におけるいわゆる「ファイリングシステム」の導入をめぐって—新潟県の事例
	西田かほる（学習院大学史料館）	菅田天神社文書と岩間明神文書について
	高橋敦子（学習院大学史料館）	学習院大学史料館の図書の整理と今後の課題
	藤 博明（福岡県立図書館）	文書館における専門職員の養成について
	森本ルミ（國學院大学大学院）	市史編さん事業終了後の編さん室の在り方について—千葉県習志野市を例にして
	雪松 直（香取神宮）	香取神宮における史料と管理について
	細野順子（共立女子大学文芸学部造形芸術研究室）	「利用を目的とした保存」その対策について—修復と代替化—
	古田功治（大阪府歴史民俗資料館）	大阪府における史料収集と今後の課題
	伊藤勝美（秋田県公文書館）	移管資料の再整理について
	龍野直樹（和歌山県立文書館）	保存施設としての和歌山県立文書館
	三宅優子（徳島県立文書館）	徳島県立文書館の史料整理・保存の現状と課題—阿波国美馬郡半田村酒井家文書を事例として
	武井一仁（高知市立自由民権記念館）	高知市立自由民権記念館における資料整理の現状と課題
郷田谷子（東村山市立郷土館）	東村山市立郷土館の古文書史料整理についての課題	
北出楯夫（上野市役所総務部市史編さん室）	「上野市史」編さんへの歩みと史料調査について	

1995年度 49名

課程	氏名(当時所属)	題 名
長期	堀内謙一(久喜市公文書館)	「公文書のライフサイクル」試論—公文書館設立のための理論的前提について
	松井輝昭*(広島県立文書館)	現状記録の評価・選別と新聞記事—自治体文書館の視座から
	服部 勉(船橋市西図書館)	船橋市西図書館所蔵郷土資料の整理—その現状と電算化について
	小松寿治(板橋区史編さん調査会)	アーカイブズのない「まち」のあり方—アーカイブズが設置されるまで、なにを行うべきか
	松本郁子(早稲田大学演劇博物館)	展示空間の設備について—演劇博物館70周年リニューアルをめぐって
	山田茂美(堺市役所)	堺市における公文書の収集の可能性について
	延原万利子(一橋大学大学院)	「村入用」帳の史的的分析—和泉国大鳥郡上神谷豊田村小谷家文書を素材に
	柳下宙子(外務省外交史料館)	外務省における公信書式の変遷について
	上甲典子*(亀岡市役所)	現状記録方法の一考察
	阿部由佳(武蔵大学大学院)	個人と現地保存—志度寺史料調査を一例として
	岡崎美保(東京女子大学大学院)	万葉集史料とその利用について
	小池康久(千葉県印西町役場町史編さん室)	市町村史編さん室における史料保存事業の推進について—印西市史編さん大綱の策定と印史協の設立
	伊藤康晴(明治大学聴講生)	文庫擁書楼の機能と書籍の利用に関する一考察—小山田与清「擁書楼日記」の分析による
	山田洋一(京都府立総合資料館)	安藤氏提唱方式による一史料の整理体験報告—総合資料館蔵古久保家文書内「番日記」について
	清水邦俊(千葉県文書館)	文書群の受け入れに伴う容器の選定について—千葉県文書館の場合—
	藤館寿巳恵(国立国会図書館専門資料部政治史料課)	史料目録のデータベース化について
	鈴木一哉(群馬県立文書館)	上野国甘楽郡本宿村の近世名主引継文書—神戸金貴家、勅使河原文江家文書を事例に
	桑尾光太郎(学習院大学史料館)	大学史編纂における資料の収集と整理—大学文書館への展望と課題
短期	須藤健吉(秋田県公文書館)	秋田県公文書館における地域史料収集の現状と課題
	樽美康一(鳥根県総務課)	鳥根県庁文書「古文書簿冊」について—現状と課題
	石川幹彦(愛知県公文書館)	愛知県公文書館における歴史的価値を有する公文書の評価・選別についての問題点
	佐々木淳(宮城県石巻文化センター)	石巻文化センターにおける記録史料管理の現状と課題
	藤谷 彰(三重県学事課)	三重県史における資料調査の一事例と今後の調査のあり方について—三重県紀和町西家の史料調査を題材にして
	児嶋ひろみ(福岡県立図書館)	福岡県立図書館における近世史料管理の現状と今後の課題
	松浦早苗(関西大学図書館)	関西大学図書館における文書・古典籍の保存環境等について
	平井義人(大分県立先哲史料館)	史料保存機関における史料購入の事例と問題点—史料の現地保存主義をめぐって
	尾多賀晴悟(広島県新市町教育委員会)	新市町に文書館をつくる試み
	堤美智子(京都大学人文科学研究所)	サン＝シモン、フーリエ文庫について—史料管理的側面から—
	山中節子(京都大学附属図書館)	京都大学附属図書館における史料の管理と利用者サービス—大学資料、貴重書を中心に
	神山朋也(愛媛県重信町教育委員会)	町立の歴史民俗資料館における体にあった文書資料の管理保存のためのアプローチ
	根本直樹(函館市役所)	地方都市における「地域情報センター」を考える
	東原(岩本)和代(泉佐野市教育委員会)	泉佐野市史編さんにおける史料収集と整理についてと今後の課題



短期	佃 隆一郎 (愛知大学大学院)	愛知大学東亜同文書院大学記念センターへの寄贈資料について—山田家資料の概要と今後の課題
	藤澤達弘 (名古屋市市政資料館)	名古屋市市政資料館における公文書整理にともなう保存管理上の問題について
	宇佐美雅樹 (福井県県史編さん課)	福井県史編さん資料の利用に向けて—情報の記録化を中心に
	垣花優子 (沖縄県公文書館)	公文書館のスタート・公文書専門員の役割について
	野内政美 (茨城県立歴史館)	ある町立文書館への模索
	名護より子 (有)沖縄マイクロセンター)	北谷町における行政文書整理委託業務について
	小山泰弘 (香川県立文書館)	香川県史編纂と文書館
	大林宏至 (中央学術研究所)	立正佼成会における史料整理—教団史編纂史料を中心にして
	高山智永 (財)広島平和文化センター)	財団法人広島平和文化センター情報資料室における資料収集と整理の現状と課題
	鳥野茂治 (大阪府熊取町教育委員会)	旧支配地域ネットワーク活動の意義と課題—泉州地域を例として
	新川武紀 (栃木県立文書館)	史料の証拠価値に関する若干の考察
	山田尚子 (三菱史料館設立委員会事務局)	三菱の史料 整理の現状と課題
	江上和仁 (愛知県県史編さん室)	史料管理におけるパソコン利用について
	安部公子 (福岡県県政情報課)	福岡県における歴史的文書の収集について—公文書の収集を中心に
	宮原千香子 (呉市教育委員会)	呉市入船山記念館内「具近世文書館」の現状と課題
	寺本智美 (岡山大学附属図書館)	池田家文庫藩政史料のマイクロ化と今後の課題について
	掃部修司 (枚方市教育委員会)	枚方宿三矢村庄屋・宿役人奥田家の蔵の整理について

1996年度 65名

課程	氏名 (当時所属)	題 名
長期	大島千波 (学習院大学大学院)	古代過所制度に関する史料的考察
	大田 彩 (学習院大学大学院)	殿上日記について
	加藤千晶 (学習院大学大学院)	近代の行政文書—神奈川県高座郡座間村の村役場文書の場合
	斉藤千景 (学習院大学大学院)	学習院大学図書館所蔵「旧丹鶴城蔵書幕府書類」について
	眞邊美佐 (お茶の水女子大学大学院)	高知県における史料管理の現状と課題—高知市立自由民権記念館をたずねて
	青木祐一 (千葉大学大学院)	(愛媛県宇和島市)「三浦田中家文書調査の現状とその問題点」
	袖吉正樹 (金沢市立玉川図書館)	金沢町における相続史料の形式とその管理について—高道新町組合御用箱史料を中心に
	富田裕美 (九州東海大学付属熊本図書館)	東京大学法学部保管・東京地方裁判所民事判決原本 (戦前期) の調査について
	仲谷夏代子 (世田谷文学館)	世田谷文学館の保存環境と保存方法について
	西向宏介 (広島県立文書館)	商家文書における経営帳簿組織の復元と目録編成—備後尾道橋本家文書を事例として
	川島慶子 (日本女子大学大学院)	藩校記録局の業務に関する一考察—細川藩時習館を事例として
	高瀬亜津子 (東京芸術大学大学院)	紙資料を収納した保存箱内の温・湿度環境測定
	善如寺朋子 (昭和女子大学大学院)	下張文書の解体作業と保存について
	福島利夫 (京都大学総合人間学部)	文書館の「普及」は有り得るのか
	南部みどり (東京大学大学院)	地域住民を主体とする地域史研究の為の文化施設をめざして—文書館・博物館・図書館
	及川 修 (岩手大学大学院)	日本史史料全文テキストデータベース構築における問題点とその解決方法
	吉澤一成 (大正大学大学院)	『遊行日鑑』の史科学的一考察
	柴田容子 (京都府立総合資料館)	史料管理学におけるarrangementとは何か
	風間康紀 (中央大学大学史編纂課)	中央大学広報部大学史編纂課における資料の保存と管理について

長期	佐藤明俊（牛久市史編さん室）	公文書館法考
短期	神田竜也（愛知教育大学大学院）	史料利用保存機関と学校教育現場との連携に関しての一考察
	花岡公貴（上越市教育委員会市史編さん室）	上越市史編さん室における史料整理の試み—越後国頸城郡大鹿新田村山田家文書の整理とその構造
	木本匡紀（和歌山県立文書館）	和歌山県立文書館における普及・啓発活動について
	伊藤信明（和歌山県立文書館）	文書館とは何なのだろう—研修・実務・実習を通じて考えたこと—
	野崎智裕（三重県生活文化部県史編さん室）	日本中世の史料管理と「公文式」—「三重県史」の編さんから
	川俣正英（茨城県立歴史館）	常陸国筑波郡上菅間村飯村家文書の構造分析
	高橋孝二（府中市役所市史編さん室）	市史編さんの成果と課題
	月本直樹（徳島県立文書館）	徳島県立文書館における史料整理方法について
	江田郁夫（栃木県立文書館）	小宅文藻編「下野古文書集」について—近世文人の史料編纂
	三重野誠（大分県立先哲史料館）	先哲史料館における史料整理について—史料基本カードと先哲史料管理システム
	鈴木秀幸（明治大学総務部歴史編纂事務室）	「大学史」の広がり
	伊能秀明（明治大学刑事博物館）	明治大学刑事博物館の資料管理について—その創設から再興・発展期の歩みおよび再編成への課題
	澤 博勝（福井県立博物館）	在村寺院・神社所蔵文書と「組織体」としての近世在村寺社—在村寺社所蔵文書の史料論的考察に向けての準備ノート
	別府節子（一橋大学附属図書館）	一橋大学附属図書館における古文書史料等の保存の現状—貴重書収蔵エリア（仮）の新設にむけて
	田原光泰（渋谷区教育委員会郷土博物館等開設準備室）	文書館と博物館—複合館問題について
	胡 光（香川県教育委員会歴史博物館建設準備室）	史料とはなにか—博物館史料論の提唱
	高橋菜奈子（新潟大学附属図書館）	史料整理とコンピューター—新潟大学附属図書館における文書目録・画像データベースの現状と課題
	村上晋司（東京大学附属図書館）	デジタル文書の保存上の問題点について
	篠栗伸一（神戸大学附属図書館）	神戸大学附属図書館における古文書整理の今後の課題
	池田将章（静岡県教育委員会県史編さん室）	県史編さん事業終了後の新組織にむけての現状と課題—収集資料管理システムを中心に
	森松綾子（愛媛県歴史文化博物館）	史料管理学会研修会に参加して
	田中慶治（泉佐野市教育委員会市史編さん室）	自治体史編さん事業における人権に関わる史料の公開をめぐる—泉佐野市史の事例を中心に
	小松芳郎（松本市総務部市史編さん室）	のこされた旧村役場文書を考える
	福島紀子（松本市総務部市史編さん室）	中世文書の伝来の経緯と史料の活用について—「松本市史」編さんの過程で見えたこと
	村上 茂（香川県立文書館）	大矢家文書の整理にあたって
	榎山英俊（秋田県公文書館）	秋田県公文書館における近世史料の再整理について
	上岡志乃（高知市立自由民権記念館）	高知市役所における行政文書保管の現状と課題
原 久美（活水女子大学図書館）	大学図書館と文書館—業務に関する一考察	
上原 孝（琉球大学附属図書館）	文書目録のパソコンによる検索システムについて	
三谷 昇（群馬県立文書館）	文書館における古文書解説講座の意義と課題	
河村克典（山口県文書館）	絵図目録における記載項目の内容と問題点	
小林純子（諏訪市博物館）	諏訪市博物館における史料整理の現状と課題	
原田和彦（松代藩文化施設管理事務所・真田宝物館）	長野県宝「真田家文書」の基礎的考察	
川島久美子（福岡県立図書館）	福岡県立図書館における古文書・古記録類の取り扱いの現状と課題	

短期	寺尾美保 (尚古集成館)	目録再編成のための一考察—尚古集成館所蔵島津家文書を事例として
	伊藤一億 (新潟県立文書館)	文書館における教育普及活動について—新潟県立文書館の教育普及啓発事業をとおして
	尾崎 晃 (千葉県立総南博物館)	千葉県立総南博物館におけるパネル目録の作成について
	村上友子 (神戸女子大学大学院)	史料管理全般について—史料ネットを事例として—
	渡部 淳 (財)土佐山内家宝物資料館)	元禄国絵図・郷帳徴収事業と史料の作成・管理—豊後国絵図元白杵藩を事例として
	長谷川伸 (新潟県庁企画調整部企画課)	中世～近現代の複合文書群における階層構造と原秩序の諸問題—淡路島護国寺文書の整理を終えて
	保延有美 (学習院大学史料館)	『学習院大学五十年史』編纂におけるデータ収集について
	高橋真文 (秋田県立博物館)	秋田県立博物館歴史部門収蔵庫の改善案—資料保存の観点からの考察
	中村敦子 (財)一茶郷土民俗資料館)	信濃町における近世史料の調査・収集と今後の課題
	清永安夫 (熊本県立図書館)	個人的な文書館構想と図書館の果たす役割について
	山口信枝 (福岡県地域史研究所)	福岡県採銅所宮座文書の構造と背景—文書とアーキビストの関わり

1997年度 51名

課程	氏名 (当時所属)	題 名
長期	石川和外 (学習院大学大学院)	記録史料と目録編成—土山家文書を事例に
	小澤昌一 (学習院大学大学院)	榎田村山口家文書の概要と映像による現状記録について
	関口かをり (学習院大学大学院)	岡本家文書の史料構造分析—出所の検討と再編成
	日暮義晃 (学習院大学大学院)	「御府内沿革図書」の作成過程について
	稲田滋夫 (嵐山町博物誌編さん室)	「広野村区有文書目録」について
	笠間恵美子 (立正大学科目等履修生)	米沢藩の修史事業と御記録方
	小堀淳子 (京都大学数理解析研究所)	数理解析研究所における灰色文献の保存とその将来について
	田中悦子 (国立教育研究所)	文化財の疎開をめぐる—東京帝室博物館、図書寮、内閣文庫の動きを中心に
	戸森麻衣子 (東京大学大学院)	東京大学法学部法制史資料室所蔵「武州五日市村文書」の成立とその構造について
	武田直子 (大阪外国語大学附属図書館)	大学図書館における史料 (資料) 管理—石浜文庫の事例から
	片岡勇次 (立正佼成会中央学術研究所)	立正佼成会における文書館設置構想の課題と展望
	坂下邦彦 (川崎市市民ミュージアム)	史料保存利用機関としての博物館—川崎市市民ミュージアムにおける古文書の閲覧公開試論
	西 光三 (立正大学大学院)	日本寺檀林関係資料のデータベース化に関する一考察—「中村檀林正東山日本寺書籍群」を中心に
	石川恵美子 (筑波大学附属図書館)	筑波大学附属図書館における保存の現状と課題
	箱崎 淳 (大和市教育委員会)	大和市資料館 (仮称) における史料管理学的課題
	新井幸弘 (群馬県立文書館)	地域資料の保存体制の確立と文書館の支援—群馬県史調査文書の追跡調査を通して
	石倉光男 (神奈川県立公文書館)	公文書データベースにおける目録データ作成とその検索のシステム—神奈川県立公文書館の事例
	小高昭一 (松戸市立博物館)	武州豊島郡徳丸本村「人別送り控帳」の史料論的考察
	皆川裕子 (上尾市教育委員会)	行政文書の収集・整理・保存について—上尾市教育委員会を事例にして
		白井哲哉 (埼玉県立文書館)
短期	加藤昌宏 (秋田県公文書館)	秋田県公文書館における史料整理と今後の課題—境争論関連史料を題材として

短期	伊波ひとみ (熊本大学附属図書館)	インターネットで情報発信—熊本大学附属図書館のホームページに見るその役割
	藤井典子 (日本銀行貨幣博物館)	史料整理過程の記録の意義について—保存庫移転後の整理作業計画策定・実施を中心に
	藤本昌司 (松山大学図書館)	松山大学における史料管理の現状と課題
	加藤 克 (北海道大学大学院)	北海道大学農学部博物館における標本台帳の電算化における現状と問題点
	小笠原智子 (徳島県立文書館)	徳島県立文書館資料の収集と今後の課題について
	鈴木 満 (秋田県立博物館)	「酒出文書」考
	川田純之 (栃木県立文書館)	明治前期の栃木県庁文書
	瀧川和也 (三重県生活文化部学事課)	三重県史編さん室所蔵写真史料について—その収集整理と今後の課題
	筒井秀一 (高知市立自由民権記念館)	高知市立自由民権記念館情報システムの計画について
	岡田 要 (福井県庁)	木村孫右衛門家文書の構造
	高木恭二 (宇土市教育委員会)	宇土市における史料管理の現状と課題—市史編さん事業の立場から
	中島晴子 (同志社大学学術情報センター)	同志社大学学術情報センターにおける未整理図書の実状について
	小野内茂喜 (愛知県総務部県史編さん室)	県史編さん事業と史料保存
	時里奉明 (九州大学大学院)	県史編纂における史料収集について
	仲本和彦 (沖縄県公文書館)	文書館における収蔵資料記述方法についての一考察—沖縄県公文書館の事例を踏まえて
	東 昇 (九州大学大学院)	柳川古文書館の史料収集・整理と普及—青木天満宮文書の整理を通して
	岡野光男 (中央学術研究所)	立正佼成会教庁における文書・記録に関する保存・利用の一試案
	安永純子 (愛媛県歴史文化博物館)	愛媛県歴史文化博物館における文書資料の収集について
	藤井隆史 (信州大学大学院)	中世における禁制の有効期間—播磨国鶴林寺を事例として
	川上達也 (新潟県立文書館)	新潟県立文書館における史料所在調査の現状と今後の課題—糸魚川市の調査を事例として
	中野里恵 (福岡県立図書館)	福岡県立図書館における地域史料の提供について
	玉城よし子 (那覇市役所文化局歴史資料室)	那覇市歴史資料室所蔵「横内家寄贈資料」の公開・利用へ向けての整理と目録作成について
	千葉明子 (琉球大学附属図書館)	琉球大学所蔵「宮良殿内文庫」古文書類の電子化作業について
	金城 善 (糸満市役所)	宗門手札の史料学的分析
	二井仁美 (大阪教育大学)	児童福祉施設HK所蔵文書の整理と目録編成
	梶嶋政司 (福岡大学大学院)	猛島神社所蔵の近代文書について
	野村美紀 (香川県教育委員会)	博物館・文書館における史料の収集・保存—特に近現代の史料について
	濱崎千雅 (熊本大学医療技術短期大学部)	史料の保存と利用—図書館職員としての立場から考える問題点
	山田 稔 (山口県文書館)	文書館と普及活動—山口県文書館における試案「文書館ウイーク」を通して
	行藤たけし (財)土佐山内家宝物資料館)	(財)土佐山内家宝物資料館における「山内家文書」目録再編成にむけての準備ノート

1998年度 57名

課程	氏名 (当時所属)	題 名
長期	秋山淳子 (お茶の水女子大学大学院)	日本人と「満州国」関係史料—中国東北部の「満州国」関係史料の調査と利用・保存
	石川一也 (学習院大学大学院)	和学講談所における「御用留」の書誌的検討
	高山慶子 (お茶の水女子大学大学院)	「寛永録」の「記録史料学的分析」

長期	野尻泰弘 (学習院大学大学院)	鯖江藩大庄屋「御用日記留」の史料学的分析—鯖江藩乙坂組千秋家を素材に
	方 美英 (お茶の水女子大学大学院)	「大坂本屋仲間記録」にみられる本屋仲間の文書作成・管理
	丸山猶計 (東京学芸大学大学院)	書状の執筆に関する一考察
	神田竜也	「『文書館』についてのアンケート」の実施結果について
	山口祐貴子 (南山大学図書館)	南山大学における記録文書の構造と文書管理の在り方について
	安部弘明 (立正大学科目等履修生)	島原藩橋津組大庄屋日記の史料学的考察
	小林勝美 (徳島県立文書館)	徳島県立文書館における公文書公開への道程
	小田大道 (熊本市立熊本博物館)	熊本博物館の現状・課題及び熊本市の史料管理について—文書館・史料館への展望に向けて
	内海和美 (国立国会図書館)	国立国会図書館憲政資料室におけるプライバシーと資料利用制限措置に関する一考察
	飯野敦子 (飯野八幡宮 飯野文庫)	歴史史料の電子化について—敦賀短期大学多仁研究室の事例
長野栄俊 (福井県立図書館)	図書館の史料保存利用機関としての可能性	
短期	田中 聡 (新潟県立文書館)	佐渡地区における資料所在調査—住民参加型調査の提案
	小貫隆久 (栃木県立文書館)	栃木県立文書館における資料保存活動とその課題
	御厨義道 (香川県教育委員会歴史博物館建設準備室)	史料のあり方についての一考察—諏訪家史料調査を通じて
	山崎朗史 (立正佼成会中央学術研究所)	史料認識論から見た教祖史料への一考察
	高野 茂 (熊本県立図書館)	熊本県の古文書調査について
	菅 修一 (京都大学経済学部)	近代日本教育史料としての教科書について
	忽那一代 (京都大学附属図書館)	貴重資料の保存と電子化
	磯部よし子 (国立国語研究所)	「研究情報資料データベース」への史料管理学の活用
	内村奈緒美 (東京大学史料編さん所)	所蔵史料目録データベースの構築と公開について—現状と課題
	大久保美玲 (昭和女子大学)	昭和女子大学唐招提寺古文書調査室の史料整理・管理方法とその課題
	吉井隆雄 (古代歴史記念美術館)	保存と劣化に関する一考察
	河西珠実 (古代歴史記念美術館)	史料管理学研修会に参加させて頂いて 所 (緒) 感
	宮田克成 (泉佐野市教育委員会)	書籍史料調査の現状から史料保存を考える
	伊藤一晴 (山口県文書館)	山口県文書館における行政文書の収集及び評価・選別について
	伊東謙助 (静岡県教育委員会)	県史編さん収集資料の利用と普及活動
	仲地政光 (北谷町公文書館)	北谷町公文書館の現状と問題点及び今後の課題と対策
	吉田時代 (都留文科大附属図書館)	「史料管理学研修会—短期研修課程—」を受講して
	小林啓子 (都留文科大附属図書館)	史料館と図書館の利用・保存の一考察
	高久智広 (神戸市立博物館)	旗本家文書の成立過程について—旗本本多家史料の性格とその構造 (試案)
	佐野史子 (八千代町教育委員会)	八千代町歴史民俗資料館における史料の保存環境—その現状と対策—
	小林和香 (安芸市立歴史民俗資料館)	安芸市におけるファイリングシステム導入と公文書保存
	藤田有紀 (財)土佐山内家宝物資料館)	土佐藩における文書整理・保管について
	木下達哉 (高知市立自由民権記念館)	水害時における行政文書の保存活動—平成10年高知市大水害時における高知市大津支所の行政資料の普及活動を事例に
	廣田京子 (東京大学工学部電気系図書館)	明治期の卒業論文及び実習報告書の保存と電子化
	千代川徳子 (神奈川県立公文書館)	神奈川県立公文書館における展示業務の現状とその問題
	如 国和 (神奈川県立公文書館)	神奈川県立公文書館の現状と当面する課題
	大津祐司 (大分県立先哲史料館)	大分県立先哲史料館の地域史料保存活動

短期	山口俊浩（東京芸術大学大学院）	旧宮内省技師・中里清五郎建築設計資料の分析と評価—東京芸術大学大学美術館所蔵資料からの考察
	山田明日香（実践女子大学）	実践女子大学文学部文芸資料研究所における紙焼本の整理について
	本馬貞夫（長崎県立長崎図書館）	県立長崎図書館郷土資料の将来構想
	衛藤彩子（神戸女子大学大学院）	西宮市立郷土資料館における文書整理作業の現状と問題点
	澤山孝子（三重県生活部文化課）	三重県史編さん室における現在の調査方法とその課題について
	小川正人（北海道立アイヌ民族文化研究センター）	北海道立アイヌ民族文化研究センター所蔵「山田秀三文庫」文書資料の整理と目録編成について
	永森直美（学習院大学大学院）	収蔵庫の立地と周辺環境について—オカダングムシにみるその関係
	小野崎尊和（立正大学大学院）	神奈川県大井町の町史編さんとその問題
	山崎礼子（大和市教育委員会）	大和市つる舞の里歴史資料館における記録史料管理—下鶴間村公所古木家文書を題材として
	橋本道範（滋賀県立琵琶湖博物館）	滋賀県における歴史資料基本台帳の作成と運用にむけて
	久部恵子（神戸大学附属図書館）	神戸大学附属図書館における特殊資料の電子化について
	三浦龍一（札幌市中央図書館）	北方型保存施設的环境リスク 低湿度環境がもたらす紙繊維の劣化をめぐる一考察
	徳江さやか （恵泉女学園本部史料室）	恵泉女学園史料室の歩みと、今後の課題
	松尾研一（福岡県立図書館）	福岡県立図書館における古文書資料の現状と課題および冊子体目録について
	五十嵐千秋 （東京学芸大学附属図書館）	東京学芸大学附属図書館所蔵松浦文庫再考
	佐藤 隆（秋田県公文書館）	秋田県公文書館の古文書課所蔵史料の再整理と目録刊行について—絵図史料の整理と絵図目録刊行に関連して

1999年度 51名

課程	氏名（当時所属）	題 名
長期	吉住 健（兵庫県知事公室文書課）	兵庫県における歴史的公文書の収集システムについて
	呉 心之 （お茶の水女子大学大学院）	台湾における史料管理の現状
	赤澤春彦（中央大学大学院）	有志団体による古文書調査—中央大学山村研究会を例に
	内野豊大（中央大学大学院）	「現状記録」の実践—京都府北桑田郡京北町古文書調査
	坂口あかね（中央大学大学院）	「東大寺文書」の保存と整理に関する一考察—印蔵と公験唐櫃を中心として
	鎮目良文（中央大学大学院）	大学資料館の可能性—大学アーカイヴズをめざして
	友田昌弘（中央大学大学院）	宮島誠一郎文書の目録編成上の問題点
	橋本由起子（中央大学大学院）	地域史料の保存と活用について—一日の出町史編纂事業を通して
	藤塚巨人（中央大学大学院）	天保期の飢饉史料—「飢饉録」を中心に
	宮永廣美（中央大学大学院）	律令国家の文書管理—中務省の機構を通して
	岡部泰子 （お茶の水女子大学大学院）	自治体史編纂と地域文書—千葉県夷隅郡大原町のケース—
	倉田裕子（昭和女子大学大学院）	記録と構造分析—竹田金春七郎氏納による蔵書の記録を中心に
	石村篤史 （中野区立歴史民俗資料館）	中野区の文書管理と将来への試案
	横山陽子（千葉大学大学院）	愛媛県宇和島市三浦田中家文書調査会の現状課題についての試案
	寒川登（大阪教育大学附属図書館）	都道府県立公文書館の普及活動の現状と課題
	原島春日（日本女子大学大学院）	企業における文書管理
	青山桂子（日本女子大学大学院）	国立武蔵野学院図書室・医務課・院長室の図書・資料について—開院から昭和13年の内務省管轄下
	根本佐智子（日本女子大学大学院）	川崎市市民ミュージアム収蔵池上家文書の伝来と特色
	倉橋圭子 （お茶の水女子大学大学院）	情報の更新—「宗譜」修譜課程にみられる中国親族組織の特徴

長期	安藤福平 (広島県立文書館)	評価選別論の課題
	井上聡子	ラベリングに用いられる接着剤の検討—CMC・MCの研究を通して
	山口信枝 (福岡県地域史研究所)	宮座文書の「御神体」化について—古宮八幡神社 (福岡県) の文書を事例として
短期	鹿毛敏夫 (大分県立先哲史料館)	文書館展示のアイデンティティー「記録史料展示論」の整理と展望—
	久葉裕可 (新居浜市広瀬歴史記念館)	広瀬歴史記念館と新居浜市における史料管理の課題について
	吉江 剛 (群馬県立文書館)	群馬県立文書館における公文書整理の現状と課題—保存利用のための整理について
	田村日出男 (同志社大学同志社社史資料室)	研究所における寄託・寄贈資料の整理について—「山室軍平関係」資料の整理過程を中心に
	清水恵枝	史料整理考—若狭国大飯郡川上村三谷家文書を通して
	柏木規子 (藤女子大学図書館)	史料の利用と普及における大学図書館の役割とアーキビストについて
	平田有宏 (秋田県公文書館)	秋田県公文書館古文書課における史料の複製化の現状と今後の課題
	佐藤史子 (秋田市立中央図書館明德館)	秋田市立中央図書館明德館における古文書の保存と利用の問題点
	小室友嗣 (秋田市立中央図書館明德館)	秋田市立図書館の「インターネット資料検索・予約システム」と保存資料 (史料) のリンク構想について
	猿田信子 (本荘市史編さん室)	「文書館」設立を実現するためには、何をすべきか
	工藤英子 (能代市史編さん室)	能代市における史料管理の現状と課題
	山口拓史 (名古屋大学史資料室)	大学史資料室における「行政文書」管理の可能性について
	和田秀作 (山口県文書館)	大内氏の「殿中文庫」について—中世大名家の文書保管の一事例
	上田和夫 (花王株式会社社史編纂室)	企業アーカイブ論序説—企業史料の収集・整理・保管・公開についての試論
	茂角征一 (神岡町教育委員会町史編纂調査員)	私設アーカイブス設立をめざして
	伊藤邦恵 (秋田大学附属図書館)	北方教育資料の情報サービスについて
	三浦泰之 (北海道開拓記念館)	北海道拓殖銀行の文書保管体制と「史料室」—北海道拓殖銀行寄贈資料の目録編成と解題執筆に向けて
	井口はる菜 (奈良教育大学大学院研究生)	音楽 (芸能) の「記録」
	石山 勲 (福岡県立図書館)	県立施設における歴史資料のあり方について
	小山恭子 (福岡県地域史研究所)	鎌田中家文書について
	崎原盛俊 (岡山大学大学院)	「沖縄の歴史情報研究」ホームページに関する評価と問題点—主に利用者の立場から
	渡辺真紀 (仙台市博物館市史編さん室)	自治体史編さんにおける史料管理—公文書館のない街で記録史料が失われないために
	佐保隆司 (立正佼成会文書館設立準備室)	文書館学からみた法話テープの収集・整理・保存・利用
	阿田幸子 (宇土市教育委員会市史編さん室)	行政文書の保存と現状について—宇土市史編さん室の取り組み
	駒木正清 (愛知県総務部県史編さん室)	県史編さんにおける資料調査及びその収集・整理の諸問題
	内山俊身 (茨城県立歴史館)	茨城県立歴史館のデータベースシステムと課題
	近藤順子 (学習院大学史料館)	学習院大学史料館の役割—現状と今後の課題
	芳地智子 (四国工業写真(株))	地方行政文書の保存利用とマイクロフィルム化について
	菅原亜希子 (秋田県公文書館)	公文書書庫収蔵資料の保存方法について

## 2000年度 68名

課程	氏名(当時所属)	題 名
長期	内山達也(城西国際大学大学院)	口頭伝承の特質とその利用について—アイヌの口頭伝承を用いて
	浅野祐一(千葉大学附属図書館)	大学図書館における記録史料保存管理活動の現状と課題—主に利用サービスを中心として
	高橋瑞江(図書館情報大学大学院)	大学図書館と情報管理—WEB上における古文書管理の方法とこれからの可能性
	尹 秀玉 (お茶の水女子大学大学院)	中国におけるアーキビスト教育と養成について
	関口豊樹(朝霞市博物館)	朝霞市博物館における古文書整理—史料的目録記述を目指して～
	李 海蘭 (お茶の水女子大学大学院)	中国の檔案館
	今村千文(中央大学大学院)	文書館と研究者—久米美術館を一例として
	田頭雅子(中央大学大学院)	地域博物館における史料整理・分類に関する考察
	高野弘之(中央大学大学院)	「陸軍にみる文書管理」～法令を中心として～
	向井佳壽美(中央大学大学院)	北区行政資料センターにおける保存・管理の現状と課題
	師岡正樹(中央大学大学院)	一般利用者に対する文書館の普及活動
	横田 稔(中央大学大学院)	高麗神社・高麗家文書の構造分析の試み
	小宮佐知子(中央大学大学院)	建造物保存と記録史料学の関連性の考察
	青木裕美(中央大学大学院)	桐生新町書上家文書の構造について
	秋山正典(駒沢大学大学院)	「新編高崎市史」編さん事業と文書館建設について
	鈴木芳枝(駒沢大学大学院)	相沢晴長家文書整理と問題点
	仲野克麻(駒沢大学大学院)	インターネットによる文書館の広報活動
	林 謙介(駒沢大学大学院)	近世寺院の文書保存と伝来—遠江国敷郡大福寺文書を事例に
	堀田和子(駒沢大学大学院)	史料管理学に対する疑問
	山岸 裕(駒沢大学大学院)	「上杉家文書」と米沢藩の文書整理
	金沢幾子(一橋大学附属図書館)	一橋大学附属図書館の貴重史料管理—福田徳三関係史料を一例として
	松本由佳(千葉大学大学院)	「鈴木家文書」(武蔵国横見郡和名村)にみる記録管理のあり方とその認識について
	金子奈央(東京大学大学院)	近世曹洞宗における嗣法関連切紙類について
	細谷昌弘(専修大学大学院)	近世村の文書管理—丹波国桑田郡黒田村の事例
	竹林晶子(国立国会図書館政治史料課)	憲政資料の目録について—電子化の前提として
	西村慎太郎(学習院大学大学院)	「大内裏図考証」濱島家本の史料的検討と一九世紀初頭の「公家社会」
	古賀康人(帝京大学大学院)	「漱石文庫」研究—小宮豊隆「漱石博物館」構想から「湯本レポート」を言及し「漱石文庫」の構造分析に到る
和田華子 (お茶の水女子大学大学院)	ミクロネシアにおけるアーカイブズ	
吉村日出東(九州大学大学院)	文書の管理とその専門職員に関する一考察	
矢澤直子(住民図書館)	市民運動資料の動的・ニューロンの性格とアーカイブズ論—ベ平連資料を題材に	
信賀加奈子 (財)東洋文庫チベット研究室)	archives自身のarchives自身のためのはたらき	
真垣あや(神奈川県立公文書館)	神奈川県立公文書館における図書資料の取り扱いについて	
逢坂俊男(徳島県立文書館)	学校教育資料の整理と保存 徳島県立脇町高等学校芳越歴史館資料の展示と目録作成から	
佐藤 健(群馬県立文書館)	文書館の普及活動と学校教育との連携—学校教育における文書館の利用・活用の可能性の探る	



短期	田澤明子（山口県立図書館）	山口県立山口図書館における郷土資料の収集と提供について
	奥野 進（函館市役所総務部市史編さん室）	函館市における行政資料の保存について
	山下堅太郎（四国工業写真（株））	記録史料の調査におけるスケッチの役割と実践
	吉田 誠（京都大学数理解析研究所）	京都大学内図書館群における学位論文の収集と利用サポートの現状
	林 千寿（八代市立博物館未来の森ミュージアム）	松井文庫所蔵文書の整理・保存・利用について—現状と課題—
	南方 長（山口県文書館）	学校教育と文書館—山口県における現状と展望—
	工藤邦彦（福岡大学図書館）	福岡大学図書館における文書の整理について
	柳瀬吉雄（琉球大学附属図書館）	図書館の中の史料目録：「沖縄関係資料目録」の今後
	小岱史芳（静岡県立中央図書館）	歴史文化情報センターにおける業務の現状と課題、及び今後の展望
	松下修也（宇土市教育委員会）	宇土市史編纂室における史料の収集・保管・活用について
	森田喜久男（鳥根県教育庁文化財課古代文化センター）	災害時における歴史資料の調査と保存—鳥根県西部地震（山陰中部地震）被災史料救出ネットワークに参加して
	山村和代（高知市立自由民権記念館）	高知市立自由民権記念館情報システムと収集資料管理の現状と課題
	山田伸一（北海道開拓記念館）	北海道開拓記念館における記録史料管理の現状と問題点
	西村朋子（岡山大学附属図書館）	池田家文庫絵図データベースの利用における問題点について
	内田てるこ（鳥根県庁総務部）	「鳥根県近代行政文書」の目録作成に向けて
	飯島礼子（奈良女子大学大学院）	アーキビスト養成についての一考察
	村上由佳（奈良女子大学大学院）	史料保存促進に向けて—市民・アーキビスト・歴史家の関係から—
	飯田奈美子（鳥根県立図書館）	鳥根県立図書館における近世史料の目録作成について—池田家文書目録の現状と課題
	白根恵子（福岡県立図書館）	福岡県（県庁）における公文書の管理・保存の現状と課題
	中山修一郎（菱洋インテリジェンス（株））	インターネットの上での古文書のありどころの情報公開について
	小倉真紀子（東京大学大学院）	正倉院に残された造石山寺所関係文書再整理の試み
	松本美和子（宍道町史編纂室）	宍道町庄司家文書の課題—活用と今後の周辺調査を考慮して
	増田 豪（延岡市教育委員会）	延岡市における史料収集・保存の現状と課題
	檀上浩之（鳥根大学大学院）	鳥根大学附属図書館における資料の保存、管理、利用について
	樋野俊晴（鳥根県庁総務課）	地方における家文書の保存と課題
	藤原時造（隠岐島後教育委員会）	隠岐島後における史料管理の現状と課題—西郷町立図書館を中心に
	久恒真由美（福岡県地域史研究所）	安高文書における史料の活用について
	多久田友秀（宍道町教育委員会宍道町史編纂室）	地域史料の調査・整理と目録編成について—「宍道町古文書目録」作成過程からの一考察
大國由美子（宍道町教育委員会宍道町史編纂室）	文書カードの記入法と史料の性格について—宍道町史編纂室の場合	
錦織希衣（鳥根県立図書館）	鳥根県における史料保存の現状と課題—県東部を中心として	
若槻琴枝（安来市立図書館）	安来市立図書館における史料保存の現状と課題	
蒲生倫子（大社町立図書館）	大社町立図書館における「大谷文庫」の整理について	
高橋容子（出雲市立図書館）	移管された野帳の評価・整理・保存について	
田中美智子（福井大学附属図書館）	福井大学における資料の収集保存と今後の課題	

注）配列は修了年度とした。

## 6. 刊行物一覧 (1991年度以降)

### (1) 『史料館所蔵史料目録』(第68集より名著出版で頒布)

第55集	陸奥国白河郡踏瀬村箭内家文書目録(その2)	1992年3月
第56集	武蔵国大里郡大麻生村古沢家文書目録(その1)	1992年3月
第57集	日本実業史博物館旧蔵古紙幣目録	1992年3月
第58集	尾張国知多郡半田村中塾半左衛門家文書目録	1993年3月
第59集	信濃国松代真田家文書目録(その6)	1993年3月
第60集	越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録(その4)	1994年3月
第61集	尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録(その1)	1995年3月
第62集	武蔵国大里郡大麻生村古沢家文書目録(その2)	1996年3月
第63集	山城国諸家文書目録(その1)	1996年3月
第64集	山梨県下市町村役場文書目録(その1)	1997年3月
第65集	武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録	1997年3月
第66集	尾張国海西郡森津新田武田家文書目録	1998年3月
第67集	越後国三島郡深沢村高頭家文書目録	1998年3月
第68集	山城国諸家文書目録(その2)	1999年3月
第69集	信濃国松代真田家中依田家文書目録(その1)	2000年3月
第70集	信濃国筑摩郡下今井村桃井家文書目録	2000年3月
第71集	尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録(その2)	2000年8月
第72集	山梨県下市町村役場文書目録(その2、完)	2001年3月
第73集	陸奥国白河郡栃本村根本家文書目録	2001年3月
第74集	三井文庫旧蔵資料(袋綴本)目録	2001年9月

### (2) 『史料館研究紀要』(第31号より名著出版で頒布)

#### 第23号(1992年3月) - 史料館40周年記念特集 -

変流する伝説 - 豊後の真野長者伝説から奥州の白鳥伝説へ -	平川 新
「御用留」の性格と内容(4) - 武州荏原郡上野毛村「御用留」の検討 -	森 安彦
上野国寛文郷帳諸写本の検討	丑木 幸男
近世文書論序説(中) - 近世文書の特質とその歴史的背景についての素描 -	大藤 修
近世社会における文書管理と文書認識 - 美濃国加茂郡蜂屋村を事例に -	大友 一雄
中国におけるアーキビストの教育と養成 - ICA国際シンポジウムの報告を中心に -	安藤 正人

#### 第24号(1993年3月)

日本近世紙幣史管見	鶴岡実枝子
幕末維新时期における村と地域	渡邊 尚志
戸長役場史料論(1)	丑木 幸男
近世在方町の町・宿呼称の変化について (近世史料論1)「御用留」の性格と内容(5) - 武州荏原郡上野毛村「御用留」の検討 -	渡辺 浩一
史料紹介 岡谷文書 - 幕末明治書翰類 - (1)	森 安彦
	原島 陽一・松尾 正人

#### 第25号(1994年3月)

近世の地域社会と在方町 - 摂津国茨田郡守口の呼称をめぐる -	渡辺 浩一
江戸時代前期の政治課題 - 「御救」の転換過程 -	福田 千鶴
戸長役場史料論(2)	丑木 幸男

〈近世史料論1〉「御用留」の性格と内容(6)			
- 武州荏原郡上野毛村「御用留」の検討-		森	安彦
史料紹介 岡谷文書-幕末明治書翰類-(2)	原島 陽一・松尾		正人
第26号(1995年3月)			
史料保存をめぐる国際情勢-保存科学国際会議に参加して-		馬淵	久夫
「北海道二級町村制」についての考察			
- 「北海道一級町村制」各条項との比較など-		鈴江	英一
近世の御振舞いの構造と「御鷹之鳥」観念		大友	一雄
尾張藩士西部相嘉と「諸国郷帳」の成立-史料論覚書、その1-		福田	千鶴
近世における史料保存管理に関する一考察			
- 京都門跡寺院妙法院「日記」を素材として-		青木	睦
戸長役場史料論(3)		丑木	幸男
〈近世史料論1〉「御用留」の性格と内容(7)			
- 武州荏原郡上野毛村「御用留」の検討-		森	安彦
北欧の文書館と文書館専門職-1992年訪問調査概要報告-		安藤	正人
第27号(1996年3月)			
〈近世史料論1〉「御用留」の性格と内容(8・完)			
- 武州荏原郡上野毛村「御用留」の検討-		森	安彦
近世中後期の村落と村定-信州高島領乙事村の事例から-		富善	一敏
アーキビストの専門性-普及活動の視点から-		森本	祥子
近現代史料整理論の状況-近現代史料整理論ノートI-		鈴江	英一
民間所蔵史料の保存・管理に関する研究			
- 山梨県大月市星野家文書を素材にして-	安藤	正人・青木	睦
第28号(1997年3月)			
戸長役場史料論(4・完)		丑木	幸男
将軍の鷹狩と江戸の鳥問屋		大友	一雄
近世都市における宝蔵と文書「管理」-播州三木町を事例として-		渡辺	浩一
〈近世史料論2〉「金銭出入覚帳」の性格と内容(1)			
- 武州荏原郡奥沢村原家文書の事例-		森	安彦
農民日記史料論-「大黒屋日記(年内諸事日記帳)」研究序説-		高木	俊輔
近世中後期における村役人制と村運営についてのモノグラフ			
- 信州高島領乙事村における-		富善	一敏
国際標準記録史料記述(一般原則)適用の試み-諸家文書の場合-		森本	祥子
第29号(1998年2月)			
近世前期大名相続の実態に関する基礎的研究		福田	千鶴
近世における「国人領主」と旧臣・「本貫地」			
- 狛氏と山城国上狛村を例として-		吉田	ゆり子
往来手形考		五島	敏芳
〈近世史料論2〉「金銭出入覚帳」の性格と内容(2)			
- 武州荏原郡奥沢村原家文書の事例-		森	安彦
農民日記史料論2			
- 「大黒屋日記(年内諸事日記帳)」にみる地名・人名記事について-		高木	俊輔
市町村役場文書における目録記述の試み-近現代史料整理論ノートII-		鈴江	英一
森 安彦教授略歴・主要著作目録			
〈国際科研報告〉在英日本史料の所在状況		渡辺	浩一
「国際標準記録史料記述(一般原則)」適用の試み-行政文書の場合-		森本	祥子

第30号 (1999年 3月)

日本史史料情報の電子化における課題	永村 眞
松浦家文書の戦時疎開について	話し手 松浦 一雄 聞き手 鈴江 英一
直輸出蚕種業者のミラノ通信	丑木 幸男
【本朝通鑑】編修と史料収集－対朝廷・武家の場合－	藤實久美子
[平成9年度共同研究] 近世の農民・自然・年貢制度	
序 文	フィリップ・C・ブラウン
割地制度－外から見た面白さ、中から見た複雑さ	フィリップ・C・ブラウン
割地制と地租改正－所持（所有）・進退－	青野 春水
越後南部農村の頼母子講と農業経営	松永 靖夫
近世の「地主制」と質地慣行－越後国頸城郡岩手村佐藤家を事例として－	舟橋 明宏
文書館活動と情報資源化の構想－古文書整理からの展開－	大友 一雄・五島 敏芳
史料収蔵環境に対する保存箱の効果	青木 睦

第31号 (2000年 3月)

徳川家康の起請文	千々和 到
七ヶ国地頭職「辞止」をめぐる鎌倉幕府と後白河院	
－関連史料の吟味を中心として－	松島 周一
幕末における郡中取締役の成立と地域－信濃国佐久郡宿岩村阿部氏の活動－	山崎 圭
「御内書」の史料学的研究の試み	福田 千鶴
近世書籍史料論に関する覚書	藤實久美子
史料整理論の再考－近現代史料整理論ノートⅢ－	鈴江 英一

第32号 (2001年 3月)

児童自立支援施設の記録史料の保存と公文書館	
－専門文書館の必要性を巡って－	二井 仁美
近現代史料論の形成と課題－古文書学などとの接点について－	鈴江 英一
秩父事件と戸長役場史料	丑木 幸男
近世後期宇和島藩伊達家の家格問題	
－「御直請一件」・「中将・少将座着一件」をめぐる－	倉持 隆
小特集「歴史編纂の比較史」	
小特集にあたって	
朝鮮王朝実録の編纂について	崔 承 熙
徳川実紀の編纂について	藤實久美子
徳川實紀（「御實紀」）	翻訳 金 孝 宣
討論記録（通訳：方美英、金孝宣）	

(3) 「史料館報」

第56号 (1992年 3月)

40周年記念祝賀会開催される	
記念講演「史料調査の思い出」	児玉 幸多
史料館創立40周年記念出版「近世・近代史料目録総覧」の刊行について	山田 哲好
講師による史料管理学研修会検討会開催	
箭内家文書の整理を終えて	渡邊 尚志
古沢家文書目録（その1）の編集を終えて	丑木 幸男
史料所在調査報告＝松江藩郡奉行所文書（伝「御徒文書」の内）中間報告	

- 第57号 (1992年 9月)  
 外交史料館所蔵外務省記録について  
 史料管理学研修会参加記  
 史料管理学研修会参加記  
 「日本実業史博物館旧蔵古紙幣目録」の編集を終えて  
 史料ラベルの貼付を考える  
 柳下 宙子  
 細井 守  
 伊藤 克江  
 鶴岡実枝子  
 廣瀬 陸
- 第58号 (1993年 3月)  
 構造分析と記録管理史研究  
 史料館叢書別巻Ⅱ「江戸時代の紙幣」の刊行  
 大名家文書に存在する村方騒動文書  
 - 「真田家文書目録」(その6)の刊行によせて  
 中壱半左衛門文書の整理を終えて  
 - 昨今の史料目録刊行と電算データの有効利用-  
 第12回国際文書館評議会(ICA)大会参加記  
 史料管理学研修会検討会開催  
 保坂 裕興  
 鶴岡実枝子  
 森 安彦  
 大友 一雄  
 丑木 幸男
- 第59号 (1993年 9月)  
 史料館の歩みと今後の課題-史料館長のあり方によせて-  
 史料保存についての雑感  
 史料管理研究室の新設について  
 複写サービスの開始について  
 行事の紹介  
 視察の紹介  
 森 安彦  
 馬淵 久夫
- 第60号 (1994年 3月)  
 藤沢市文書館の20年と市町村文書館の課題  
 史料管理学研修会のカリキュラム再編成について  
 史料所在調査報告=飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書  
 高野 修  
 史料館研修会委員会
- 第61号 (1994年 9月)  
 検地帳所持争論と近世村落-越後地方の事例紹介-  
 雑感  
 史料の修復について  
 文部省科学研究費補助金による研究成果報告  
 錦絵(彩色史料)の複製について  
 越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録刊行を終えて  
 富善 一敏  
 高木 俊輔  
 安藤 正人
- 第62号 (1995年 3月)  
 史料館と歴史学会  
 国際文書館評議会東アジア部会  
 「記録管理の自動化に関するワークショップ」に参加して  
 第2回記録史料の保存・修復に関する研究集会について  
 史料所在調査報告=飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書-その2-  
 吉原健一郎  
 山田 哲好  
 青木 陸
- 第63号 (1995年 9月)  
 現状記録論と調査・研究  
 保存科学をめぐって  
 ロンドン大学におけるアーキビスト養成課程  
 報告「史料管理学の体系化に関する研究」準備研究会  
 吉田 伸之  
 二宮 修治  
 森本 祥子  
 安藤 正人

- 報告「収蔵史料の修復に関する研究」研究会  
神戸家所蔵犬山屋神戸家文書の保管容器について 青木 睦  
渡辺 浩一
- 第64号（1996年3月）  
史料整理と歴史研究－「近世米作単作地帯の村落社会」を刊行して 渡辺 尚志  
史料所在調査報告＝飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書－その3－
- 第65号（1996年9月）  
『史料館収蔵史料総覧』を手にして 青山 英幸  
古代・中世寺院史料の活用 永村 眞  
史料の保存・利用と電子化 蔵持 重裕  
特別展示・講演会  
史料修復研究成果報告  
史料学の研究会報告  
史料管理学体系化の準備研究会
- 第66号（1997年3月）  
『総覧』から『目録』へ 鈴江 英一  
特定研究「記録史料の情報資源化と史料管理学の体系化に関する研究」  
科研「歴史史料の材質劣化評価への科学発光の応用研究」 青木 睦  
ICA北京大会に参加して  
史料所在調査報告＝飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書－その4－
- 第67号（1997年9月）  
“史料叢書”の刊行開始によせて 森 安彦  
湖底に沈んだ村の文書目録 森 安彦  
史料館所蔵史料目録第63集を刊行して 福田 千鶴  
特定研究第3回研究会報告  
国際学術研究「在英日本史料の所在と現状に関する調査」を終えて  
史料学の第2回研究会報告
- 第68号（1998年3月）  
史料館と大学教育 大口勇次郎  
特定研究「記録史料の情報資源化と史料管理学の体系化に関する研究」  
1997年度研究会について  
ビザンチン写本 その装飾と技法 吉岡栄美子  
欧州日本史料専門家会議に参加して 渡辺 浩一  
史料所在調査報告＝飛騨国大野郡高山町会所・戸長役場文書－その5－  
基盤研究（A）研究会報告  
長期在外研修報告記 福田 千鶴
- 第69号（1998年9月）  
館長就任にあたって 高木 俊輔  
史料館外国人研究員としての半年間 フィリップ・カールトン・ブラウン  
尾張国海西郡森津新田武田家文書の整理を終えて 大友 一雄  
紙の産地と紙質 青木 睦  
『松代藩庁と記録』の刊行 山田 哲好  
第二次世界大戦期アジアにおける「戦争とアーカイブズ」の問題 安藤 正人  
私の村落史研究 山崎 圭

第70号 (1999年 3月)

韓国の「記録物管理法」制定とその課題 田 美姫  
「記録史料の情報資源化と史料管理学の体系化に関する研究」1998年度研究会について  
「歴史史料の材質劣化評価への化学発光の応用研究」の研究会の開催  
史料所在調査報告 = 阿波国徳島蜂須賀家文書の関連史料  
= 信濃国高井郡東江部村山田家文書

第71号 (1999年 9月)

錦絵画像データベースの試作について 藏持 重裕  
最近の史料館をめぐる動きから 高木 俊輔  
史料館における大学院設置問題についての提言 大学院構想プロジェクト  
情報システム・プロジェクト活動報告  
「町村制の発足」の編集意図と成果 鈴江 英一  
目録戦国時代 - 史料館所蔵史料目録第68集の刊行を終えて 福田 千鶴

第72号 (2000年 3月)

文書を仏像に籠めるとのこと 千々和 到  
「歴史史料情報の共同集約と共有化に向けてのシステム開発に関する研究」について  
史料所在調査報告 = 信濃国高井郡東江部村山田家文書 (2)  
= 信濃国佐久郡下海瀬村土屋家文書

第73号 (2000年 9月)

詔書・勅書・勅語 広瀬 順皓  
書評『日本近世史料学研究』 藤田 覚  
史料館の移転・改組問題 高木 俊輔  
史料管理学研修会の改革 丑木 幸男  
「在欧日本史料の所在と現状に関する調査」研究報告 安藤 正人  
史料館ホームページ案内 五島 敏芳  
史料館情報閲覧室活動報告  
戸長役場の史料を焼き捨てる 丑木 幸男  
目録第69集を刊行して 山田 哲好  
目録第70集を刊行して 高木 俊輔

第74号 (2001年 3月)

史料館蔵「三井文庫旧蔵資料 (袋綴本)」の整理にあたって 藤實久美子  
史料館所蔵史料目録第71集  
「尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書 (その2)」のあとがき 渡辺 浩一  
簡易型真空凍結乾燥機の実用化に向けて 青木 睦  
論集『アーカイブズの科学』の刊行準備  
「史料情報共有化システム」の開発について  
史料所在調査報告 = 信濃国高井郡東江部村山田家文書 (3)

(4) 『近世・近代史料目録総覧』 (史料館創立40周年記念出版)

1992年 4月 三省堂

(5) 『史料館叢書』 別巻2 江戸時代の紙幣 1993年 1月 東京大学出版会

(6) 科学研究費補助金研究成果報告書

一般研究A: 「史料所在情報の集約とその解析的研究」 (代表: 森安彦) 1994年 3月

- 国際学術研究：「在英日本史料の所在と現状に関する調査」（代表：森安彦） 1997年 3月  
 基盤研究A：「幕藩領主文書と村方・町方文書群の発生・展開並びに  
 伝存に関する史料学的研究」（代表：森安彦） 1998年 3月  
 基盤研究A（1）：「歴史史料の材質劣化評価への化学発光の応用研究」  
 （代表：丑木幸男） 1998年 3月  
 国際学術研究：「在欧日本史料の所在と現状に関する調査」（代表：高木俊輔） 2000年 3月

(7) 「セミナー [原典を読む]」

4. 古文書が語る近世村人の一生 森 安彦 1994年 8月 平凡社  
 5. 蚕の村の洋行日記  
 上州蚕種業者・明治初年の欧羅巴体験 丑木幸男 1995年 7月 平凡社  
 11. 「夜明け前」の世界 「大黒屋日記」を読む 高木俊輔 1998年10月 平凡社

(8) 「史料館収蔵史料総覧」 1996年 3月 名著出版

(9) 「特定研究」研究レポート (No.1が「特定研究経費」、以外は館内の予算措置)

- No.1 「記録史料の情報資源化と史料管理学の体系化に関する研究」 1997年 3月  
 No.2 「同 上」 1998年 3月  
 No.3 「同 上」 2000年 3月

(10) 「史料叢書」

1. 近世の村・家・人 1997年 3月 名著出版  
 2. 松代藩庁と記録 1998年 3月 名著出版  
 3. 町村制の発足 1999年 3月 名著出版  
 4. 戸長役場の史料 2000年 3月 名著出版  
 5. 農民の日記 2001年 3月 名著出版

(11) 「古典講演シリーズ」

2. 詩人杉浦梅潭とその時代 1998年 2月 鈴江英一・森安彦他 5名 臨川書店

(12) 「原典講読セミナー」

4. 江戸時代の漁場争い 松江藩郡奉行所文書から 安藤正人 1999年 8月 臨川書店

(13) 「日本近世史科学研究」

- 史料空間論への旅立ち - 2000年 2月 北海道大学図書刊行会



## 7. 史料展示会一覧

テーマ：品川歴史館・国文学研究資料館共催、品川歴史館開館10周年記念特別展  
「商売繁盛－文学と歴史からみた近世の町人群像－」（通算23回）

期間：1995.7.1～30

会場：品川歴史館

趣旨：品川区内にある両館の学問的交流を図ったもので、江戸時代の版本や商業資料を素材にして、江戸時代の経済活動とそれが育んだ文化についてわかりやすい展示を意図した。

内容：導入（紅絵問屋店先復元模型）、①本に描かれた商売、②都市の繁栄と商人たち  
③金融－金は天下の回りもの－、④文学のなかの商売、⑤開かれた扉－開国と経済混乱－

講演会：①7月8日「江戸時代本屋商売」 今田洋三（近畿大学教授）

②7月15日「書画会と江戸文学」 ロバート・キャンベル（国文学研究資料館助教）

③7月22日「歴史から見る江戸の商人像」 林玲子（江戸東京博物館研究員）

④7月29日「江戸小咄と商人」 岡雅彦（国文学研究資料館教授）

史料館収蔵展示史料：○数字は内容構成に対応

②日本実業史博物館準備室旧蔵錦絵・番付・引札・商業器具、白木屋大村家文書

①日本実業史博物館準備室旧蔵商業器具、加嶋屋長田家文書、弘前津軽家文書、徳島蜂須賀家文書、

⑤加嶋屋長田家文書、日本実業史博物館準備室旧蔵錦絵など、合計62点

テーマ：国文学研究資料館1996年度春期特別展

「近世文字社会のひろがり－史料館収蔵史料展－」（通算第24回）

期間：1996.5.13～24

会場：国文学研究資料館 2階展示室

趣旨：文字社会が広がった近世の文書の世界をテーマに、文字を手中にした民衆が、さまざまな場面で自らの世界を記録していく姿を史料館の収蔵史料を中心に展示した。

内容：序章 文字社会の広がり

第1章 文字による支配、第1節 村の支配制度、第2節 年貢の村請制、第3節 村の法度

第2章 権利を守る、第1節 小農家族と家訓、第2節 家相続と遺言状、第3節 家格と由緒書、第4節 証文と契約、第5節 抵抗としての文字

第3章 生活を記録する、第1節 誕生から元服まで、第2節 結婚儀礼、第3節 先祖祭祀、第4節 多様な日記の出現

第4章 文字を学ぶ、楽しむ、第1節 文字学習の体系化、第2節 蔵書と貸借  
第3節 俳諧、落首・風刺、第4節 情報と近代化

終章 往來の文字

〔特設コーナー〕ふえる紙、さまざまな紙

〔写真パネル〕

講演会：5月17日

①「近世私文書の世界」 森 安彦（史料館長）

②「近世の農民日記」 高木俊輔（史料館教授）

③「近世村落文化の構造」 高橋 敏（国立歴史民俗博物館教授）

展示史料：史料館収蔵（含受託）や個人蔵の史料、道具、写真パネルなど合計124件を展示（詳細は紙数の関係で省略）。

## 8. 歴代評議員一覽

(1991年在職者以降)

氏名	在任期間
児玉 幸多	1967～1992
斉藤 正	1976～1992
秀村 選三	1988～1996
阿部 秋生	1978～1992
小田切 進	1978～1992
加藤 周一	1982～1992
土田 直鎮	1983～1992
林 大	1982～1992
阪倉 篤義	1984～1992
坪井 清足	1984～1993
宮川 満	1984～1992
猪瀬 博	1986～2000
今井 源衛	1986～1993
上山 春平	1986～1992
田中 裕	1986～1993
秋山 虔	1988～1998
京極 純一	1988～1995
有馬 朗人	1990～1993
井内慶次郎	1990～1993
尾藤 正英	1990～1998
網野 善彦	1992～2000
稻賀 敬二	1992～2000
小玉 正任	1992～1996
小林 清治	1992～1996
佐竹 昭廣	1992～1993
堤 精二	1992～
藤澤 令夫	1992～1995
山田 俊雄	1992～1993
石井 進	1994～1998
河合 隼雄	1994～2000
久保田 淳	1994～
佐野文一郎	1994～1998
濱田 啓介	1994～1998
平岡 敏夫	1994～
水谷 修	1994～1998
水谷 静夫	1994～1995
吉川 弘之	1994～1998
朝尾 直弘	1996～
阿部 謹也	1996～
興膳 宏	1996～
佐々木高明	1996～1998
竹内美智子	1996～1998
田中 彰	1996～
石毛 直道	1998～
大口勇次郎	1998～
佐原 眞	1998～2001
阿部 充夫	1999～2000

氏名	在任期間
甲斐 睦朗	1999～
雜賀 美枝	1999～
竹西 寛子	1999～2000
徳江 元正	1999～
蓮實 重彦	1999～2000
坂元 弘直	2000～2001
中野 三敏	2000～
吉原健一郎	2000～
久保木哲夫	2000～
山折 哲雄	2001～
佐々木 毅	2001～
末松 安晴	2001～
宮地 正人	2001～

## 9. 歴代運営協議員一覽

(1991年在職者以降)

氏名	在任期間
小林 清治	1982～1992
佐竹 昭廣	1982～1992
水谷 静夫	1982～1994
有吉 保	1984～1998
伊藤 正義	1986～1996
久保田 淳	1986～1994
石井 進	1988～1994
稻賀 敬二	1988～1992
平澤 五郎	1988～1994
大口勇次郎	1990～1998
朝尾 直弘	1992～1996
栃尾 武	1992～1998
日野 龍夫	1992～2001
竹内美智子	1994～1996
延廣 眞治	1994～
野山 嘉正	1994～
吉原健一郎	1994～2000
藤井 讓治	1996～
岩佐美代子	1996～1998
久保木哲夫	1996～2000
後藤 祥子	1998～
外村南都子	1998～
名和 修	1998～
宮地 正人	1998～2001
伊井 春樹	2000～
岡崎 久司	2000～
高埜 利彦	2000～

10. 歴代史料館員一覧 (1991年在職者以降、就任順、職名は退任時)

氏名	在職期間	職名
鶴岡美枝子	1949.4～1993.3.31	教授
藁谷実枝子	1973.4.1～1997.3.31	文部科学省事務官 (東京大学文学部へ転出)
林 宏保	1974.5.1～1997.3.31	文部科学省事務官 (国文学研究資料館管理部へ配置換)
大藤 修	1975.10.1～1993.3.31	助教授 (東北大学文学部へ転出)
小山 弘志	1982.4.1～1993.3.31	国文学研究資料館長兼史館長事務取扱
森 安彦	1984.4.1～1998.3.31	教授 (史料館長)
渡邊 尚志	1988.4.1～1993.3.31	助手 (一橋大学社会学部へ転出)
毛塚 万里	1990.8.1～1998.6.30	事務補佐員
高橋 真理	1991.4.1～1996.3.29	事務補佐員
佐竹 昭廣	1993.4.1～7.31	国文学研究資料館長兼史料館長事務取扱
三上 淳子	1993.4.1～1994.3.29	事務補佐員
福田 千鶴	1993.4.1～2000.3.31	助手 (東京都立大学へ転出)
馬淵 久夫	1993.4.1～1996.3.31	客員教授 (作陽短期大学)
二宮 修治	1995.4.1～1996.3.31	併任助教授 (東京学芸大学)
森本 祥子	1995.5.1～1998.3.31	講師 (COE非常勤研究員)
永村 眞	1996.4.1～1999.3.31	客員教授 (日本女子大学)
藏持 重裕	1996.4.1～1999.3.31	併任助教授 (滋賀大学)
河西秀早子	1996.4.1～1999.3.29	事務補佐員
羽鳥 陽子	1996.4.1～2000.3.29	事務補佐員
大崎 博仁	1996.4.1～1997.8.31	事務補佐員
フィリップ・C・ブラウン	1997.9.16～1998.3.15	COE外国人研究員客員教授 (オハイオ州立大学)
藤實久美子	1998.4.1～2001.3.31	講師 (COE非常勤研究員)
千々和 到	1999.4.1～2000.3.31	客員教授 (國學院大学)
松島 周一	1999.4.1～2000.3.31	併任助教授 (愛知教育大学)
佐藤 経磨	2000.2.1～3.29	研究支援推進員
広瀬 順皓	2000.4.1～2001.3.31	客員教授 (駿河台大学)
二井 仁美	2000.4.1～2001.3.31	併任助教授 (大阪教育大学)
倉持 隆	2000.4.1～2001.3.31	リサーチ・アシスタント (慶應義塾大学大学院)
渡辺 嘉雄	2000.12.18～2001.3.29	研究支援推進員

\*現職史料館員一覧（2001.4.1.在職者、就任順、職名は現時点のもの）

氏名	在職期間	現職名
竹之内重雄	1971.2.16～1972.5.30 1997.4.1～	文部科学省事務官専門職員 助教授
山田 哲好	1975.7.1～	教授
安藤 正人	1977.4.1～	助手
青木 睦	1981.8.1～	教授
丑木 幸男	1990.4.1～	助教授
大友 一雄	1990.4.1～	助教授
渡辺 浩一	1991.4.1～	事務補佐員
渡辺 菊乃	1991.4.1～	教授
鈴江 英一	1993.4.1～	
大貫 真理	1993.4.1～1996.3.29、 1999.4.1～	事務補佐員
高木 俊輔	1994.4.1～	史料館長
畠山 典子	1994.4.1～	事務補佐員
吉岡栄美子	1997.4.1～	文部科学省事務官（東京大学史料編纂所より転入）
五島 敏芳	1997.4.1～	助手
奥田 和美	1997.4.16～	研究支援推進員
清水 泉二	1997.5.1～1998.3.29、 1998.9.1～1999.3.29、 1999.10.1～2000.3.29、 2000.11.1～2001.3.29 2001.10.17～	研究支援推進員
中西 裕美	1997.9.1～1998.3.29、 1998.7.1～1999.3.29、 2000.4.1～	事務補佐員
山崎 圭	1998.4.1～	助手
齋藤 悦正	2000.4.1～	リサーチ・アシスタント（早稲田大学大学院）
原島 陽一	2001.4.1～	客員教授（文化女子大学）
田島 達也	2001.4.1～	併任助教授（北海道大学）
加藤 聖文	2001.4.1～	講師（COE非常勤研究員）
西村慎太郎	2001.4.1～	リサーチ・アシスタント（学習院大学大学院）
福重 旨乃	2001.4.1～	リサーチ・アシスタント（法政大学大学院）
朴 慶沫	2001.4.1～	COE外国人研究員客員助教授（江陵大学校）